

ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。
プライス・コード{a ¥ 1 6 9 0 / A ¥ 1 8 9 0 / B ¥ 2 0 9 0 / C ¥ 2 2 5 0 / D ¥ 2 4 9 0}
(表示価格は税抜き) 別途消費税が加算されます

www.tambourine-japan.com email: song@tambourine-japan.com

注文方法サイト: <http://www.oct-net.ne.jp/tambouri/order.htm>

Scotland(P4) USA{Old Time 他}(P24) CANADA{Trad 他}(P29)

[CD/ISLE OF MAN]

- *BARRULE: Barrule C
(副題"Music From The Isle Of Man"。収録時 19 歳の Tomas Callister {フィドル、バズン、ヴォー}, Jamie Smith {ヴォーカル、アコーディオン、ギター}, Adam Rhodes {ブラス、ヴォーカル} の若者トリオはマン島のトラッドに果敢に挑む。Jamie の毅然として悠々としたシンギングの素晴らしさもさることながら、フィドルとアコーディオンの演奏の緻密さと大胆さ、その二台をメインに据えた演奏の構成の見事さは天下一品。2012 作。Wardfell)

[CD/WALES]

- *ALLAN YN Y FAN: NEWID A
(Catrin O' Neill なる女性トラッド・シンガーとフィドル弾きの Alan Cooper を新メンバーに迎えた新生 Allan Yn Y Fan の新作。Allan Yn Y Fan 自体の音楽は、70 年代のブリティッシュ・トラッド風な土臭いトラッドで昨今のハイセンスなケルティックなトラッドとは一線を画した大御所トラッドの風合いで、Catrin の庭の花々に優雅なシンギングにお似合いのサウンドで、Catrin のシンギングも素敵に生えている。本作でのラインナップは三姫三太郎の六人組。2016 作。Steam Pie)
- *JULIE MURPHY: Every Bird That Flies A
(元 Fernhill のヴォーカルの J. Murphy の四枚目。ウエールズのカントリーサイドの自宅でピアノの引き語りで作曲をしたという自作曲 6 曲と伝統歌 3 曲の計 9 曲。ピアノの引き語りを中心に制作された本作は、そのまま自宅で弾き語りしているような落ち着いた中で、Julie の一筋の線を描くような、あるいは清い水の流れるようなシンギングは清々しく、深く、美しい。2016 作。Shells In The Ocean)
- *FERNHILL: Llatai (1998 作。Beautiful Jo) B
- *FERNHILL: Whilia (2000 作。Beautiful Jo) B
- *GWENAN GIBBARD: Y Gorwel Porffor A
(ウエールズ語を話す家庭で育ったという全曲ウエールズ語による Gwenan Gibbard の新作はハープの弾き語りによる 6 曲収録 CD。6 曲中 3 曲が伝統曲だが、彼女のハープの弾き語りには、伝統音楽一途というよりは、伝統音楽が子守歌のように真に身近な音楽として身につけていて、ウエールズ語の優しい響きのシンギングもハープの音色の真に優しい。すっかり春の花園で夢見気分保証。2015 作。Sain)
- *GWENAN GIBBARD: Y Gwenith Gwynnaf B
(ハープの小気味よい響きと Gwenan の美しく澄んだシンギングが作り出

- す世界は彼女独特な幽玄の世界。w. Maartin Allcock, Huw Roberts, Stephen Rees, Dafydd Roberts, Deian Elfryn. 2006 作。Sain)
- *FFYNNON: Adar Gwylltion (二枚目。2006 作。Taith) B
- *CARREG LAFAR: Ysbryd y Werin (1995 作。Sain) B
- *CALENNIG: Trade Winds – Gwyntoedo Mor Hafren B
(副題“Stories Of The Seven Sea”。1994 作。Sain)
- *NANSI RICHARDS: Brenhines y Delyn B
(副題。“Queen Of The Welsh Harp”。歴史的な録音集。44 トラック。Sain)
- *LLIO RHYDDERCH: Malangell (2000 作。Fflach:tradd)
- *MABON: OK Pewter B
(アコ奏者の Jamie Smith のアコガリター格のアコースティック&エレクトリック混在の抜群のりのケルティック・ミュージック。Jamie のアコの演奏はエレキッシュな演奏も聴き物だが、数少ないスローな曲での泣き節も聴きもの。体当たりの演奏でほとぼしる情感が凄い魅力。Mabon)
- *SIAN JAMES: Gweini Tymor (96 作。Sain) B
- *SIAN JAMES: Di-Gwsq (97 作。Sain) B
- *LLEUWEN: Penmon B
(ウェルズの異色の SSW、Lleuwen 嬢の 2007 作。ウェルズ語の唄による夢心地な唄&音楽世界を創作。w. Huw Warren, Thad Kelly, etc. 2007 作。Gwymon)
- *LINDA GRIFFITH: Storm Nos B
(ウェルズはモンゴメリー・シンガーの本作は、全曲ウェルズ語で、ウェルズの伝統歌への愛情や家族への愛情が、Linda のたおやかなシンギングで心に深く響くもの。Linda の二人の愛娘の Lisa Angharad と Gwenno Elan Healy が美しいハーモニーを添えている。w. Gwenan Gibbard, Chris Leslie, Maartin Allcock, etc. 2009 作。Sain)
- *SILD: Tro A
(エストニア人でヴォーカルと Hiiu-Kandleid というエストニアのフイドル系楽器奏者の Silje Ilves とギター&ハモンド・オルガンの Martin Leamon のウェルズで活動する二人組の Sild の本作は 2 枚目。ウェルズとエストニアの伝統歌だが、Silje の野趣な味わいを秘めた軽快で美しいシンギングとスクワットは絶品。トラッド・ファン必聴。2008 作。Fflach)
- *THE DEVIL'S VIOLIN a
(副題“Roma Gypsy Music And Tales From Wales And Beyond”。アコ、ヴァイオリン、チェロによるマケドニア〜ルーマニア〜ロシアのジプシー音楽とジプシー音楽を伴奏にした北ウェルズに伝わるジプシーの二つの物語。この二つの物語は Daniel Morden's Award という賞受賞の本“Dark Tales From The Wood”からの物語。不思議なお話は Daniel Morden 本人。2007 作。Taith)
- *BRAGOD: Kaing B
(ウェルズの 14~19 世紀の詩と音楽、イギリスの 6~7 世紀の詩集“The Book of Aneirin”からの歌と音楽そしてウェルズの 12 世紀のドラマ。Mary-Anne Roberts というシンガーの喉歌化する呪術的ヴォーカルは異空間へと運ぶしウェルズのヴァイオリン系古楽器の Crwth {クルス} とリラの伴奏と演奏は土俗的であり「異空間」度を増す。アリア やアリア的な句いを

醸す古きウェルズ[°]のケルト音楽だ。P106の解説本付。CD-ROM機能付でシ
ガ-と奏者の生演奏が捧める。2004作。Bragod)

- *ROBIN JAMES-JONES:Telynegion B
(Nanci Richards等にハープを教わったというウェルシュ・ハープ奏者による
ウェルズのトラッドからアイルランド、スコットランド、アメリカのトラッドそしてガ-シュイン
の“Summertime”まで。フォーク系ハープ奏者の中では装飾の多いいわゆ
る一般にイメージされるハープ音楽風。ハープによる美しいケルト音楽・ファン
向き。全15曲夢心地。2004作。Sain)
- *ROBIN HUW BOWEN:Hen Aelwyd - Old Hearth B
(副題“Welsh Music On The Triple Harp To Fire The Soul”。ウエ
ールズのトリプル・ハープのソロ。1999作。Sain)
- *WILD WELSH WOMEN:Death Of The King's Canary B
(5人組の「野性ウェルズ女達」はTamzin&Roziの入魂のヴォーカルをメインに
据えたトラッド・バンド。音楽性はエレガントなことから荒武者フォーク・ロックまで
激流的。気概溢れる二人の女性のシンギングの見事さに言葉なし。
2003作。Airheart)
- *ARFON GWILYM:Proc i'r Tan B
(この中年トラッド・シンガ-は素晴らしい。Arfonの温厚なシンギングとワ
トなウェルズ語の響き、かつ主にハープの伴奏によるシンギングはビールを
片手に鼓舞するような朗々としたシンギングをも柔和というか優雅
な芳香を放つ。ウェルズの伝承歌を愛するAfronの極上のトラッド・アルバ
ム。英語解説&曲目解説付。2003作。Sain)
- *PHIL TANNER:The Gower Nightingale D
(副題“Ballads, Songs&Mouth Music from South Glamorgan
recorded in the 1930s&40s”。1930年代に見出された南ウェルズ出
身の偉大なトラッド・シンガ-のP. Tannerの1937年のBBC録音曲等を含む
貴重録音集。2003作。Veteran)
- *BOB DELYN a'r EBILLION:Dore B
(耽美的と言うべきか、女性シンガ-のTwm Morysの美味シンギングやハープ
伴奏の素朴な哀愁のフォークから入魂のフォーク・ロックそしてバルカン?アラブ?
風味をも取り込んだ暗黒ロックまでレンジの広さは北欧トラッド・バンド
をホ-ツさせる。2003作。Sain)
- *RAG FOUNDATION:Minka ¥1000
(特価。Rag FoundationはNeil Woollard{ヴォーカル}, Kate Woollard
{ヴォーカル、フィドル}, Richard Cowell{ギター}のトリオ。w. Nigel Eaton,
Julie Murphy, Ceri Rhys Matthews, Andy Cutting。唄は英語とウェ
ルズ語。99作。Fflach)
- *CERI RHYS MATTHEWS・JONATHAN SHORLAND:Pibau C
(副題“Welsh Bagpipe Music”。CeriはFarnhill。99作。Fflach)
- *SIAN PHILLIPS:Gramundus C
(副題“Traditional Welsh Fiddle Music”。98作。Fflach)
- *OGAM:O Gam I Gam A
(女性2名、男性3名の5人組ウェルシュ・トラッド・グループ。11曲中8曲がトラ
ッド曲。彼等のトラッドへのアプローチの仕方は、クラシック寄り。2000作。Sain)

[CD/CORNWALL]

*NIGEL (An Gwer) ROBERTS & FRIENDS: Just Is A
(Nigel Roberts {通称 An Gwer} は自称「ケルトの吟遊詩人」。彼自身は
ダブリン、ハープ、フイドル、マンドリン、バウロン等を演奏し、飄々とストーリー性
のある唄をうたう。印象はずばり、Robin Williamson&His Merry
Band。初めて聴いたとき、彼の自在錯誤の音楽に「今時、うそでし
よう！」というのが正直な感想。彼の仲間との音楽 [楽器はハーディ
ギター、スモールパイプス、ホイッスル、リコーダー、バンジョー、ベース、ジャンバ、トラン
プット、クラリネット等+女性ヴォーカル] は、まるで中世の広場でうたい、踊り、
演奏する楽士。70年代に帰った気分。本作は薄型ケースのCDR製で、ジ
ャケットは簡素。裏ジャケットはない。2004年と2006年の録音。An Gwer)

[CD/ENGLAND/SCOTLAND]

*MICK GROVES: Fellow Journeyman B
(副題“The Songs of Ewan MacColl”。20曲中16曲がEwan {Iwan}
MacCollの曲。白髪でウエスタン・フォーク・シンガーの風貌のM. Grovesによる
朗々たるフォーク・ソング。Produced by Phil Beer。2004作。EXEG1)

[LP/SCOTLAND]

*DICK GAUGHAN: Handful Of Earth C
(不朽の名盤。LP。81/2009作。オランダ 6spices)

[DVD/SCOTLAND] PAL

※パソコン又はPAL方式再生可能DVDプレーヤー/で再生可能

*BARBARA DICKSON: Che Faro D
(1986年のBarabara Dicksonのテレビ番組のDVD。ライブを中心に子
どもの頃から80年代までの音楽人生を語るドキュメンタリー・フィルム。ライブは
“The Caravan Song”, “Boulder To Birmingham”, MacCrimmon’s
Lament” [素晴らしい無伴奏シンギング!], “Easy Terms”, “Nana”
[スペインの子守唄], “Che Faro”。この頃、フォーク・シンガーとしてスター街道
まっしぐらだった彼女はクラシックに挑戦。その練習なども。50分。
2012作。BARB1DVD)

*DONNIE MUNRO: Field Of The Young D
(CD“Field of the Young”の映像版に二つのコンサート・ライブ映像が収
録。約2時間。2004作。Hypertension)

[DVD/SCOTLAND] NTSC all regions

※国内製DVDプレーヤーで再生可能

*IVAN DREVER&DUNCAN CHISHOLM: A Long December Night ¥1500
(Duncanの自宅で収録された本作は北スコットランドの12月の長い夜、静
かだが、二人のスピリットに充ちた唄と音楽がとめどなく流れる。スコ
ットランド・ファン宝物。2004作。Highlander Music)

[CD+DVD/SCOTLAND]

※国内製DVDプレーヤーで再生可能

*ALY BAIN: Aly Meets The Cajuns ¥2880
(DVDケース入りDVD+CDセット。1988年、スコットランドのテレビ番組で放送された

Aly Bainがアメリカのケイジャンとザ・デ・イコのミュージシャンと共演したドキュメンタリー・フィルム完全版+CD。CDはリマスターで再発。共演者はDewey Balfa, Boozoo Chavis, Michael Doucet, Marc Savoy, Ann Savoy, Queen Ida, D L Menard, Hary LaFleur, Wayne Toups。DVDは51分、CDは55分。この番組からTransatlantic Sessionsシリーズへと発展する。1988/2012作。Whirlie)

*ALISON KINNAIRD: The Silver String D
(CDとDVDのセット。本作を聴いて驚くのは金属弦とガット弦の小型ハープでスコットランドの古いパイプ・チューンやラメント等を当時のハープの音色を再現するかのよう古風かつ優美かつ気品ある音色を創造していること。もうそれは魂の響きとしか言いようもないハープの音色。ゲスト: Christine Primrose, Ann&Charlie Heymann, Robin Morton。DVDはガラス工芸品の製作フィルムとライブ演奏2曲とインタビュー等。2004作。Temple)

[CD/SCOTLAND]

*KATE & RAPHAEL: Les Objets Trouves C
(イングランドとスコットランドの歌姫ヴォーカル・グループ“Laylam” {Carthy, Hardy, Farrell & Young}のKate Young {ヴォーカル、フィドル他}がフレンチ・スタイルの人アコ奏者のRaphaël Decosterと組んだ新作。実質的にソロ・デビュー作“Kate In The Kettle” {未聴}に次ぐソロ二枚目。冗談っぽいジャケットの表紙や内側のイラスト。そして耳に飛び込んできた音楽は、空前絶後の飛翔感のあるKateのシンギング。“Laylam”の歌姫の中で、最も歌唱力があると直感。加えて、KateのフィドルとRaphaëlのアコの遊び心あるあうんの共演と競演は天下一品。演奏面では即興性のあるフレンチ・スタイルのRaphaëlの演奏に響き合わせるようにKateがフィドルを躍らせ、ときにスキヤットするようにシンギングする。演奏面では恋仲と思えるほど、息がぴったし。音楽的に技術的にも精神的にも気力的にも比較できるものがないほど、極めて高度。魔法の音楽。2017。作Kate&Raphaël)

*DOUGIE MacLEAN: New Tomorrow C
(なんだか凄くリラックスした感じで、聴き親しんだD. MacLean節全開のD. MacLeanのスタジオ録音の新作だ。プロデュースは息子のJamie MacLean。基本的な伴奏楽器はDougieのギターとJamieのドラムス。すっかり“Craigie Dhu”や“Butterstone”時代回帰のDougieの唄たちにJamieは+αな彩りを加える演出をされていて、それが宅録的なホームメイド感があって、ほんのりと心地よい。音質もとがってなくて、まろやか。SSW系の音楽には普通はあり得ないアコースティックギターとドラムスのコラボ伴奏だが、Jamieのドラムスはゆったり感があって、安心感や安堵感をもたらしている。久しぶりにDougieらしい新曲とDougieらしいDougie節を聴いた。ゲスト: Matheu Watson, Davie Duncan。齢を重ねたDougie、風貌も良い風貌をしている。2017作。Dunkeld)

*ALEX CAMPBELL, ALAN ROBERTS, DOUGIE MacLEAN: CRM C
(Dougie MacLeanファンの宝物。1979年作。Osmosys)

- *SKIPINNISH:The Seventh Wave C
 (ハイランド西海岸を代表するトラッド・バンド“Skipinnish”の新作で七枚目。特に期待せずに聴いたら、ぶっ飛んでしまった。六枚目までの Skipinnish とは別物と思って聴いた方が良い。バンドをレベルアップさせたのは元 Manran のゲール語シンガーの Norrie MacIver。彼が加入したことで、彼らが本来持っていた大衆性に上昇志向が芽生えて、音楽がロック化し、ハイランド的に音楽の魅力が増す効果をもたらす結果を生んでいる。方向的には逆だが、例えば、Runrig がより大衆化した印象だ。新加入の Norrie もこのバンドで居心地良さそうにノドをふるわせている。いつものようにバンド・リーダーの Andrew Stevenson の奥様の Rachel Walker もバックিং・ヴォーカルでお手伝い。2017 作。Skipinnish)
- *MANRAN:Mànrán B
 (Mànrán デビュー作。2011 作。Mànrán)
- *RACHEL WALKER:Fon Reul~Sholus(お宝。2006 作。Skipinnish)D
- *CALUM ALEX MacMILLAN:Till B
 (Dàimh のメンバーでルイス島のトラッド・シンガーで吟遊詩人の Calum Alex MacMillant のソロ二枚目。ローカルな吟遊詩人の唄を聴いて育ったという Calum のゲール語の唄は、真にルイス島の伝統音楽に根ざしていて、シンギングは朗々として、晴れやか。Donald Shaw のプロデュースは、必要最小限の音作りで、ゲール語独特な柔らかな響きの Calum の唄とともに、心はルイス島の村々へ飛ぶ。味覚の秋ならぬ味覚の Calum の美味しい唄の数々。w. Julie Fowlis, Ross Martin {Dàimh}, James Mackintosh {Shooglenifty}, James D. Mackenzie {Breabach} Greg Lawson {GRIT}, Manus Lunny。2017 作。Vertical)
- *DAIMH:Moidart To Mabou B
 (Daimh のデビュー作。このときのヴォーカルは Calum Alex MacMillant ではなく Anne Martin。2000 作。Goat Island Music)
- *OLD BLIND DOGS:Room With A View B
 (オリジナル・メンバーは Jonny Hardie {フィドル、ヴォーカル} のみとなった Old Blind Dogs の結成 25 周年記念アルバム。現在のメンバーは、J. Hardie に Aaron Jones {ヴォーカル、ブラス・キー他}, Ali Hutton {バグパイプ、ホイッスル、ヴォーカル}, Donald Hay {パーカッション、ヴォーカル}。Old Blind Dogs という名のかか、一丸となった四太郎の演唱はテンションが高い。ノッケのアイリッシュ“Bunker Hill”では後半で米国民謡の“Sandy Boys”なんかも演っていて、パイプをフィーチャーしたスコティッシュな演奏が滅茶苦茶かつこいいし、フィドルとパイプ&ホイッスルの風のサウンドを全面に出したスコティッシュなサウンドの何と心地よいこと。加えて半数を占める唄ものが滅茶苦茶泣ける。とりわけ Lionel McLelland 作の二曲での Aaron Jones のたおやかなシンギングが本当に素晴らしい。久しぶりの横綱級スコティッシュ・トラッド。2017 作。OBDmusic)
- *OLD BLIND DOGS:Close to The Bone(93 作。Lochshore) B
- *VAIR:A Place In Time B
 (Vair はシェトランドの男性五人組トラッド・バンド。シェトラン

ドのバンドらしからぬマンドリン、バンジョー、ギターばかりの楽器編成〔フィドルや笛の類いが無い〕による彼らの演奏は、曲目はスコットランド中心にもかかわらず、ゴールウェイ周辺の古っぼいアイリッシュ、それでいて結構カッコいいアイリッシュに聞こえるから面白い。あるスジからの話によると、Mary Shannonはパブで好んでスコティッシュを演奏しているという。理由はスコティッシュはカッコいいからと。そんな感じの音楽を五人で演奏しまくるのだから、凄い！そんな中、Vagalandというシェトランドの詩人の詩を改詩した唄などギターの弾き語り風の唄が三曲収められている。これが結構心に沁みる。2017作。Vair)

*FARA: Cross The Line

B

(Faraはオークニー島出身の女性四人組トラッド・バンド。メンバーはTwelfth DayのCatriona Price〔フィドル、ヴァイラ、ヴォーカル〕、Jeana Leslie & Siobhan MillerのJeana Leslie〔フィドル、ヴァイラ、ヴォーカル〕、Blazin' FiddleのKristan Harvey〔フィドル、ヴァイラ、ヴォーカル〕それにピアノ名手のJennifer Austin〔ピアノ、ヴォーカル〕の四姫。ギャルのセンスがまぶしいキャピキャピの演奏と、これまたギャルのセンスならではの胸キュンな桃色演奏、加えて歌心あるトラッド・シンガーならではの、無垢な乙女のように清楚で心に沁みる美しいシンギング。どれもがまぶしい。三姫がフィドラーなのに、音楽がフレッシュなのは、彼女達の演奏技術の高さと創作力によるものだろう。2017作。GPL-Music)

*NUA: Head Full Of Dreams

A

(ご存じNuaは二姫二太郎の世界トップ・クラスのケルティック・バンド。四名の内三名がドイツ人で、残りの一人がオークニー島出身のCatriona Price。Catrionaと、もう一人Michaela Grusの二人の歌姫のシンギングは今が旬なシンギングで胸キュン。曲目はアイリッシュとスコティッシュとオリジナル曲で、ケルティックな風合いとノリの良さは抜群。Catriona Priceの活躍はここから始まった。BeogaのNiamh Dunneが賛辞を寄せている。2013作。Liekedeller)

*TWELEFTH DAY: The Devil Makes Three

A

(オークニー島出身の歌姫でフィドル弾きのCatriona Priceと各種ハープ弾きでシンガーのEsther Swiftの女性の二人組のとびっきりの本作。Catrionaのフィドルはスコティッシュな、若々しく自在なとびっきりの演奏で魅了する。相方のEstheのハープは、Catrionaの演奏に感応するようにハープを爪弾き、音楽を彩り、Catrionaの演奏と一緒に舞い踊る。若々しいスコティッシュ・サウンドに彩られた二人のシンギングは、まるで花園の色とりどりな花。2014作。Orange Feather)

*THE CAMPBELL OF GREEPE: No. 2 Greepe

B

(Kenna Campbell, Seamus Campbell, Mary Ann Kennedy, Wilma Kennedy, Maggie Macdonaldの五人組の伝統音楽一家〔KennaとSeamus夫妻の娘がMary AnnとWilmaでWilmaの姪がMaggie。Kennaは1959年のNational Modの優勝者〕によるスコットランド・ゲール語の屈指のシンギング・アルバム。驚くのはKenna&Seamus老夫

婦のかくしゃくとしたシンギングの見事さ。娘達の清いシンギングとの微妙な声の違いから生み出される彩と綾が何とも力強くも優しく美しい。曲目にはない14曲目には Kenna の素朴なシンギングが収められていて、感動。スコティッシュ・トラッドの名盤。2014 作。Watercolour Music)

- *LITHA:Dancing Of The Light A
(メンバーは、Aaron Jones [ヴォーカル、ベース、ギター]、Claire Mann [フルート、ホイッスル、ヴォーカル]、Gudrun Walther [ヴォーカル、フイドル、アコ]、Jurgen Treyz [ギター、ドラム、ヴォーカル] のスコットランドとドイツのピカーの組み合わせ。曲目はアイリッシュが半数近くで、バランスの取れた演奏とシンギングは、アイリッシュをベースにしつつ、音楽をさらにハイレベルな域にまで高めている。2011 作。Arte)
- *ANGUS SMITH AND NORTH 56:One Day B
(リード・ヴォーカルの Angus Smith は 1998 年のゲール語文化フェスティバル“Mòd”の金メダリストだそうだが、彼と彼のバンドによる本作を聴いて、ぶっ飛んでしまった。おそらく Runrig に対抗意識を持っているであろう Angus のヴォーカルの熱さと孤高さに惚れ惚れしてしまう。加えて、ストレートなフォーク・ロックは体に美味しい。圧巻は二曲目と最後に収められた曲。二曲目はゲール語の曲“Tha Mi Seo”で最後の曲は“Tha Mi Seo”を英語でうたったもの。ゲスト: Dougie Pincock。2017 作。Angus Smith Music)
- *DAVE BURLAND, TONY CAPSTICK, DICK GAUGHAN
:Songs Of Ewan MacColl (お宝。1996 作。Black Crow) ¥2790
- *WOLFSTONE:Wolfstone (一枚目。1994 作。Celtic Music) ¥2790
- *GEORGE JACKSON & MAGGIE MacINNES:Cairistina ¥2790
(1984 作。Iona)
- *THE COMPLETE SONGS OF ROBERT BURNS Volume 7 B
(Karine Polwart, Bobby Eaglesham, George Duff ほか。1999 作。Linn)
- *THE COMPLETE SONGS OF ROBERT BURNS VOL. 8 (1999 作。Linn) B
- *JENNA CUMMING:Taladh - Gaelic Lullabies B
(収録曲 13 曲全曲スコットランドのゲール語の子守歌。そのほとんどは古謡で無伴奏。不思議なことに、Jenna のシンギングは全くと言ってよいほど無伴奏であることを忘れさせる美しさ。その美しさは言葉では表現出来ない母親がわが子を思うような深い美しさ。数曲オルゴールや古いハーブの響きのような伴奏を伴った子守歌が収められていて、すっかり和んでしまう。静かな空気感の中で響きわたるゲール語の唄の響きとともに夢の中。2017 作。Clann Sona [「幸運な子ども達」の意])
- *BARBARA DYMOCK:Hilbert's Hotel B
(2011 年の一枚目。“Billy Taylor”, “The Unquiet Grave”ほか全 15 曲。Barabara Dymock)
- *CALM AND RORY MacDONALD:The Band From Rockall C
(Runrig の創設メンバーの Calm&Rory 兄弟の本作は、感涙のスコティッシュ・フォーク・ロック。ロックやポップスに熱狂した青春時代に想いを馳せた心からの唄とロックはどこか懐かしくて、あ

ったかい。2012 作。Ridge)

- *DONNIE MUNRO: Sweet Surrender - Live Acoustic D
(元 Runrig のフロントマンの Donnie Munro のライヴ 二枚組。Donnie は 2014 年に Eric Cloughley {ギター、バックিং・ヴォーカル}, Maggie Adamson {フィドル} とアコースティック・トリオを結成。本作はそのトリオで行ったコンサートのライヴ盤。僕などは Donnie Munro=Runrig のイメージがあるが、本作を聴くと、そのまま Runrig のアコースティック版として、馴染んでしまう。彼の唄はそのまま「スコットランドの声」として優しく、パワフル。アコースティックだが、唄も音楽も熱い。そして感観客も。全 19トラック。2015 作。

Hypertension)

- *RUNRIG: The Essential A
(1981 年～1996 年収録の音源からの 16トラック収録の編集 CD。偉大なスコティッシュ・ロック・バンドですな。2007 作。Capitol)

- *RUNRIG: In Search Of Angels (99 作。Columbia) A

- *SHOOGLENFIFTY: Radical Mestizo (Shoogleg) C

- *SHOOGLENFIFTY: Roots (2007 作。Shoogleg) C

- *ALISTAIR RUSSELL: A19 B

(元 Battlefield のシンガーでギター奏者の Alistair の 2002 年作。Dave Burland, Karine Polwart, Maartin Allcock, John McCusker, John Martin, Kieran Halpin, Chris Sherburn 等の心からのバックアップで、伝統歌を中心に Andy Irvine や Archie Fisher 等の曲を滋味豊かにうたう。秋の夜長の良き友。2002 作。Glade)

- *ALISTAIR RUSSELL & CHRIS PARKINSON

- : A Glass And A Mile B

(元 Battlefield Band のシンガーでギター奏者の A. Russell とアイルランドの Mayo をルーツとするアコ奏者の C. Parkinson による二枚目。大半はアイリッシュ。Alistair は父親から多くのアイリッシュ・ソングを聞かされたという。Alistair の唄は Battlefield Band の流れを引く印象だが、その流れの中でも愁いのある曲ばかりをうたっていて、何やら「心の唄」的な内容で、聴いていて、懐かしい気分になってしまう。2013 作。Glade)

- *BATTLEFIELD BAND: Happy Daze A

(Karine Polwart, John McCusker, Alan Reid, Mike Katz がメンバーの最強 Battlefield の 2001 年作。Temple)

- *BATTLEFIELD BAND: Dookin' A

(彼等らしいエキサイティングな演奏と Alan のお涙頂戴のシンキングで泣き笑いさせる。「一曲一曲が琴線に触れる演奏と唄」と簡単には片付けられない感動的な音楽。2007 作。Temple)

- *UP IN THE AIR: Moonshine A

(Up In The Air は、Old Blind Dogs の創設メンバーの二人の Jonny Hardie {フィドル、ギター、ヴォーカル} と Davy Gattanach {パーカッション、ギター、ヴォーカル} に Iron Horse の Gavin Marwick {フィドル} のスーパー・トリオによる 2012 年のアルバム。スコティッシュ臭の強い Dave のシンギングが素晴らしく、全体として Old Blind Dogs 的なスコティッシュをベースに自在な音楽を創作していて素晴らしい。

Up In The Air)

- *CHERRY GROVE: No Time Like Now A
 (若き女性四名=Marianne Fraser {ヴァーカル、ギター}, Mhairi Mackinnon {フイドル、ヴァーカル}, Sarah MacNeil {ハープ、ヴァーカル}, Heather Shelley {ピアノ、ヴァーカル} + 男性=Grant McFarlane {アコ、ヴァーカル} 一名のエキサイティングなスコティッシュ・トラッド・バンドの爽快デビュー作。彼女たちは若い女性ならではの可憐かつ萌え立つセンスを活かして、今日的感覚のグルーヴィーなケルティック・ミュージックを軽やかに創作しきっている。加えて Marianne 唄はフォーク系シンガーとして最高に魅力的。2014 作。Cherrygrove)
- *MAGGIE MacINNIS: Spiorad Beatha B
 (自身のハープ 又はピアノの弾き語りによるガール・ソングの美しさと気高さは流石。w. Flora MacNeil, Keith Easdale, Graeme Hughes, Marie Felding, Brian McAlpine, Charlie McKerron, etc. ゲール語原詩&英訳付。2001 作。Marram)
- *ESME'S ADVENTURE "The Girl With The Purple Harp" B
 (本作は 11 歳の時に脳腫瘍を患い、2013 年に 18 歳の若さで亡くなった女性ハープ 奏者の Esme Morris Macintyre に、スコットランドのハープ 奏者達が Esme のために作曲し、捧げたアルバム。伝統曲は"The Arran Boat"の一曲のみ。演奏家は、Sileas が二曲演奏している以外は、ハープ 奏者或いはグループが一曲ずつ演奏。収録曲は全部で 14 曲。演奏者は異なるが、曲調が主にスコティッシュ風の曲作りなのと、ほとんどの演奏が控えめで、石清水のように澄んだ音色の響きを放っていて、不思議なことにアルバムとしての統一感が感じられる。本 CD の売り上げの全額は英国の「Teenage Cancer Trust」という NPO に寄付される。P16 のブックレットには元気な頃の Esme の写真がいっぱい。2015 作。Teenage Cancer Trust)
- *CHRIS STOUT & FINLAY MacDONALD: The Cauld Wind B
 (Chris Stout の相方の Catriona MacKay が Olov Johansson と組み、一足先に素晴らしい音楽を発表したが、Chris がハイランド・パイプ 奏者の Finlay MacDonald と組んだ本作は、Catriona&Olov の上昇気流音楽のレベルに劣らぬ唯一無比の素晴らしい音楽。Chris&Finlay は伝統性に重きを置きつつ、産み落とされた音楽は革新的で典雅で高潔。音楽のすべてのレベルが高く、魅力的。こんなわくわくするようなスコティッシュ・ミュージックは聴いたことがないと思ってしまう。バグパイプ とフイドルの組み合わせによる新たな魅力的なスコティッシュ・ミュージックを創作している。心にピンピン響く。スコットランドの人なら、もう感電死。2013 作。Chris Stout Music)
- *CRUINN: Cruinn C
 (スコットランドを代表するトラッド・シンガー 4 名 {Rachel Walker, Fiona Mackenzie, James Graham そして Brian O hEadhra} から成る Cruinn の一枚目。トラッド・シンギング・アルバムの傑作。2013 作。Cruinn)
- *CHRIS SHERBURN & FINDLAY NAPIER
 : Two Men On A Boat C
 (スコットランドのトラッド・グループ "Back Of The Moon" のシンガーでギター奏者の F. Napier と英国のトラッド・グループ "Last Night's Fun" のコンサート

→奏者の C. Sherburn のデュオ・アルバム。C. Sherburn は伴奏に徹していて、実質的にヴォーカルの Findlay のソロ・アルバム的だが、これが抜群に良い。Dick Gaughan の“Live In Edinburgh”, Nic Jones の“Penguin Eggs”等を二人共通の“Great Album”とし、本作を制作した二人だが、Findlay のスコティッシュなまりのヴォーカルは、柔らかくも毅然とした孤高感があって、心に響く。ブリティッシュ・トラッド / フォーク・アルバムの名盤。2014 作。Lister)

- *EWAN McLENNAN: Rags & Robes B
(E. McLennan の心にしみる名盤。w. Jackie Oates, Peter Tickell。2010 作。Fellside)
- *KATIE McNALLY: Flourish A
(Long Time Courting の女性フィドラー Katie のソロ。米国でスコティッシュ・フィドルを習得し、仕上げでスコットランドに渡って習得した Katie の演奏は米国人だからこそか、スコティッシュ・スタイルのフィドルの魅力を感覚的にかつ実践的に熟知していて、メチャ最高！2012 作。Katie McNally)
- *AALD NOOST B
(棚で発見した貴重なシトランドの音楽。収録年は 1994 年。本作の発案者はピアノ奏者の Violet Tulloch アコーディオン奏者の Iain MacPhail。二人は音楽仲間 [フィドルの Ronnie Jamieson、アコーディオン奏者の Brian Morrison、ベースの Cecil Hughson, Douglas Johnstone] を誘って、シトランドの伝統音楽のスタイルに則った音楽を自分たちのアレンジで演奏したのが本作。ケリー・バンド・スタイルのシトランド音楽は、シトランドでは当時としてはニュー・ウェイヴだったのだろう。ダンスの風景が目につく。数々の短曲。短い曲解説に一曲一曲への思い入れが端的に綴られていて、演奏者の「曲の好きさ」がよくわかる。録音はオケニー諸島。在庫数枚。Attic)
- *FIONA DAVIDSON: The Language Of Birds C
(1998 年リリースのケルティック・ハープの弾き語り。9 曲中 6 曲が Storytelling、つまり「語り」で、3 曲が唄。Fiona はハープを爪弾き、語りと唄で、古代吟遊詩人の神秘的な語り部の世界、ケルトの伝説の世界へと誘う。1998 作。Watercolour)
- *ALY BAIN, ALE MOLLER, BRUCE MOLSKY: Meeting Point C
(“Live At The Liverpool Philharmonic”。Aly Bain と Ale Moller にオールド・タイム・フィドラーでシンガーの Bruce Molsky が加わったトリオでのライブ。Aly Bain のフィドルをフィーチャーしたシトランドの曲では Ale がマンダラが気品のある彩りを添え、Bruce のヴォーカルとフィドルをフィーチャーした米国のトラッドでは Ale がマンダラが気品のある彩りを添え、二人の民俗色豊かな音楽をシェイプアップし、Ale のマンダラをフィーチャーした北欧の曲では二人のヴォーカルのフィドラーは北欧スタイルのフィドルで遊び、その遊びの後には本来の自身のスタイルのフィドルで遊んだり、シトランドとスウェーデンと米国のトラッドの演奏名人の三人による最高に美味しいミックス・ジュース音楽。2013 作。Whirlie)
- *ALY BAIN & ALE MOLLER: Beyond The Stacks C
(シトランドのフィドル曲を中心に数曲のスウェーデンの曲を加え、A. Bain と A. Moller がそれぞれの国の音楽性を共有し、共演したもの。2007

作。Whirlie)

- *DUNCAN CHISHOLM: Live At Celtic Connections C
(2013年のCeltic Connectionsのライヴ。会場はKelvingrove Art Gallery。今日、スコットランドの泣きのフィドルでは彼の右に出る者はいない。ソで、テュオで、グループで、会場のアート・ギャラリーの展示物に負けないうスコティッシュ・ムードの音の絵を描く。スコティッシュ・トラッドのワビ・サビのフレーズがふんだんに盛り込まれた極上の演奏は、すっかり極楽気分。一緒に音の絵を描く共演者は、Jarlath Henderson {リリッパ・パイプス}, Allan Henderson {フィドル、ピアノ} Matheu Watson {ギター}, Martin O' Neill {ハウロン}, Ross Hamilton {ベース}。Copperfish)
- *KRIS DREVER: Black Water And Live C
(K. Dreverの2006年のデビュー作 {全曲ミックスをやり直している} とグラスゴーのOld Fruitmarketでの2008年のライヴ {12曲収録} の2枚組CD。ライヴは、Karen Matheson, Heidi Talbot, John McCusker, Ian Carr, Ewan Vernal, Andy Seward, Donald Shaw, Andy Cutting, Donald Hay, Roddy Woomble と豪華な顔ぶれ。もちろん新しいパッケージとブックレット。2007/2012作。Reveal)
- *THE PAUL McKENNA BAND: Between Two Worlds A
(この若手バンドは最高。リーダーでヴォーカルのP. McKennaのヴォーカルが絶品で、心に沁みるし、加えて、P. McKennaのギター、David McNeeのブラス、Sean Grayのフルート&ホイッスル、Ewan Bairdのハウロンそして屈指の若手フィドル奏者のRuairidh Macmillanのフィドルによるセッションする演奏のワカ度度はもの凄い。2009作。Greentrax)
- *DUNCAN WOOD & GUESTS: Swarbricks B
(本作のアイデアはCathal McConnellとDuncan WoodがSwarbとEdinburgh Folk Clubで共演したことに始まる。全曲Swarb作曲の曲で全17トラック収録。マントリン、マントーラ、フィドル、ヴァイオリン、ハウロン等を演奏するDuncanは、Swarbの曲は完成されていて、簡単には編曲不可能と判断し、じゃあセッションで作ろう！ということになって、Cathal McConnell {フルート、ホイッスル}、Martin McDonald {ギター、ボーンズ}、Gavin Sutherland {ギター}、Maureen Hunter {ハープ}の仲間とフォーク・クラブでセッションするように作ってしまったのが本作。これが功を奏して、まるでBoys Of The Loughのようなスコティッシュ・トラッドっぽい音楽に自然変化。ギター系楽器が多い分、音楽の粒立ちが良く、軽やかで優雅に響いている。聴いてすぐにSwarbの曲とわかる人はよほどのSwarbマニア!? 2013作。Beaechwood)
- *ALASDAIR ROBERTS & FRIENDS: A Wonder Working Stone B
(Dougie MacLeanと活動を共にしていたAndy Robertsの息子、Alasdairの本作は、70年代ブリティッシュ・フォークの香りがプンプン。不思議な懐かしい感じの音楽。2013作。Drag City)
- *ALASDAIR MacIILIEBHAIN: Las B
(別名Alasdair Whyte。スコットランドのガリック・ソングのコンテスト優勝者Alasdairのデビュー作は、野郎ながら何とも美しいガリック・ソング・アルバム。Alasdairのオリジナル曲が半数の本作だが、唄のストーリーは伝統歌集的。柔和なシンキングの感じが、僕の大好きなArthur Cormackに似ていて、病みつき。2012作。Watercolour)

- *MACMASTER・HAY:Hook B
 (Sileas の Mary Macmaster と打楽器奏者の Donald Hay の 2 枚目。ハープの音楽、スコティッシュ・ミュージックの最前線の音楽。驚くのは Mary のシンギングの素晴らしさ。特にタイトル曲“Hook” {Waulking Song} でのシンギングの魔性的ムードはドキドキとしてしまう。2012 作。MDMC)
- *KARINE POLWART:This Earthly Spell A
 (2008 作。Hegri Music)
- *LIONEL McCLELLAND:To Wyle Us Hame B
 (2010 年 9 月、心不全で亡くなったスコットランドを代表するフォーク・シンガーの L. McClelland の亡くなる前に収録を終えていた CD。スコットランド語のシンガーであり、ストーリーテラーであり俳優だった Lionel は、“The Complete Songs Of Robert Burns”のシリーズの制作に情熱を傾けたことでも知られる。本作に収められた Lionel の唄は温もりの感じられる穏やかな自作作曲中心の唄。w. Pete Clark, Marc Duff, Aaron Jones, Paul McKenna, Rod Paterson, etc. スコットランド音楽の重要作。2012 作。Actually Productions)
- *KRIS DREVER, EAMONN COYNE AND MEGAN HENDERSON
 :Kris Drever, Eamonn Coyne And Megan Henderson ¥1280
 (Lau のメンバーでフォーク・シンガーの Kris Drever と仲間によるリラックス・ムードの中にもピリッとハリのある Kris の唄 3 曲とバンジョー、ギター、フィドルによるセッション 2 曲。Kris がうたう“Parcel Of Rogues” {Trad}, “Wild Hurricane” {Sandy Wright}/“Lament For Glencoe” {Trad}, “Shady Grove” {Trad} の 3 トラックは、もう抜群。2012 作。Reveal)
- *SIMON CHADWICK:Old Gaelic Laments C
 (本作は 15 世紀の金属弦ハープ {ケルマツハ} クイーン・マリー・ハープ の復元ハープによる 16~18 世紀の哀悼歌集。Simon の演奏は普段聴くスコットランドのハープともアイルランドのハープとも趣を異にしている。Simon の演奏はいにしへの宗教的な音楽の世界に身を委ね、その陶酔の中で、最上の美しい音色を爪弾いているのよう。色彩感のあるリズムの連なりが不思議なモチベーションを創り出している。2012 作。Early Gaelic Harp)
- *SKETCH:Shed Life B
 (一瞬 Martin Bennet!?!とってしまう冒険心旺盛なスコティッシュ・ミュージック。しかし音楽のコンセプトはハイランド地方の農閑期のダンス音楽。バンド・メンバーはスコティッシュ・シンガーの Maeve Mackinnon にフィドルの Neil Ewart, パイプ、ホイッスルの Steven Blake, ギターの Chris Waite, パーカッション、ブローミングの Iain Copeland。スリリングなスコティッシュ・ダンス&ディスコ・サウンドの嵐の中 Maeve は神がかってスコティッシュ・ゲール語でシンギングする。免疫力のないスコティッシュ・トラッド・ファンには危険な音楽。でも力は最高! ゲスト: Ross Ainslie, John Spiers。2012 作。Skye)
- *PATSY REID:Bringing The Gap A
 (スコティッシュ・フィドル奏者 P. Reid の 2008 年作。w. Mhairi Hall, Aidan O'Rourke, Anna Wendy Stevenson, etc. Vertical)
- *JENNA REID:Morning Moon B
 (過去、シエラランドの Filiska、スカイ島の Dochas そして Deaf Shepherd のフィドラーとして活動したシエラランド・フィドラーの Jenna の本作は、シエラランド・フィドルから広くスコットランド・フィドルそして海を渡ってケープ・ブレトン・フィド

ルとフィドル・ミュージックの幅を広げてきた Jenna の音楽を盛り込んだ作品。w. Kevin Mackenzie, Bethany Reid, Kathleen Boyle, Olov Johansson, etc. 2012 作。Lofoten)

- *JENNA AND BETHANY REID:Escape B
(第二次世界大戦下に北海で起こったある楽器制作者の逃避劇の物語の一場面一場面をスコットランドの若手随一のフィドルの Jenna Reid と妹の Bethany [フィドル&ピアノ] が作曲し、二人で演奏した音楽。音楽はいわばスコットランドの伝統音楽を中心に据えた創作音楽で、緩急自在でイメージネーション豊かな音楽を含め Cattieanna McKay&Chris Stout の高潔な音楽世界に通じるし、肩を並べている。2010 作。Lofoten)
- *THE SCOVILLE UNITS:The Scoville Units a
(注目すべきスーパー・ケルティック・ブルグラス・バンド。メンバーは Flook の Ed Boyd に Show Of Hands の Miranda Sykes, Daily Planet の Leon Hunt, Josh Clark, Rex Preston そして紅一点の Gina Griffin。面白いのは Leon Hunt のセンス抜群の即興的なパソージュ。これと精鋭ケルティック・バンドとのミックスがめちゃ新鮮。好きにセッションする中で、伝統歌やダンス曲を魔法のようにとびつきりフレッシュで、リジナルなアコースティック・ミュージックへと変幻させる。心々々気分爽快！加えて、3 曲で愛らしいヴォーカルを披露する Gina の唄も素敵。2010 作。Get Real)
- *RURA:Break It Up a
(スコットランドから飛び出した 2011 年の“The MG Alba Scots Trad Music Awards”授賞の若きトラッド野郎達のどでかいデビュー作だ。彼らはデビュー作にして、ヴェラン・スコティッシュ・バンドの風格。堂々として、気高く優艶な演唱を長々と聴かせたかと思えば、終盤、バグパイプ、ギター、フィドル、フルート、バウロン等がエレクトリック・ミュージックに絡み合い、舞い上がる。その、スコティッシュ・スピリット溢れるグルーヴは凄い。2012 作。Greentrax)
- *ALISTAIR OGILVY:Leaves Sae Green A
(若き男性トラッド・シンガーのデビュー作。Alistair のシンギングは、Dick Gaughan のシンギングを正調スコティッシュ・トラッド節と位置づければ、正調。スコットランドの伝統歌を中心に Andy M. Stewart や Davy Steele 等の曲を伸び伸びとシンギングする。その健やかな唄が気持ち良い。w. Steven Polwart, Aly Macrae, Inge Thompson。Produced by Mattie Foulds。2012 作。Greentrax)
- *BRUCE MacGREGOR AND CHRISTINE HANSON
:Kissin' Is The Best Of A' B
(Brazin' Fiddles のフィドル奏者の B. MacGregor と大西洋を挟んで活動するマルチ音楽対応チェロ奏者の C. Hanson とのコラボ。Bruce のハイランド色濃厚な多彩なフィドルに Christine のチェロが深い情感を加える。演奏者の心はスコットランドで何百年も伝承されてきた音楽への深い愛情に満ちている。Tim Edey, Brian McAlpine。2011 作。Breachin All)
- *JOANNE McIVER & CHRISTOPHE SAUNIERE:The Cannie Hour A
(スコットランドのガール・シンガーの J. McIver とブルターニュのケルティック・ハーブ奏者の C. Saunier のデュオ・アルバム。全曲、ヴォーカルの Joanne の自作曲なのだが、伝説や妖精物語やお化けの話などにインスピレーションを得たトラッド風のスコットランドのゲール語と英語混在の唄で、トラッド・シンガーとして、また魅惑の不可思議 SSW としての、両方の魅力を持ち合わせている。

- 2011 作。Buda)
- *COAST:The Turning Stone B
 (これは Wolfstone クラスのフォーク・ロック・バンド。いや Wolfstone より底力がある。むしろ Runrig に近いかも。ヴォーカルの Paul Eastham はスコティッシュ・フォーク・ロック・バンドのヴォーカルとして凄く魅力的。音ゲスト:Duncan Chisholm。2011 作。Ruabhal)
- *JIM MALCOLM:Acquaintance C
 (Robert Burns 集。2007 作。Beltane)
- *EAMON DOORLEY, MUIREANN NIC AMHLAOIDH,
 JULIE FOWLIS, ROSS MARTIN:Dual A
 (Dochas のシングルで屈指のゲリラック・ソングの Julie Fowlis と Danu のシングルで屈指のゲリラック・ソングの Muireann の、スコットランドとアイルランドの二人の歌姫の競演アルバム。2008 作。Machair)
- *BRIAN O hEADHRA:An t-Ailt B
 (アイルランド・ダブリン出身で元 Anam の Brian のソロ。タイトルは「流れ」の意。現在はスコットランドのインヴァネス在住で、奥様は Mackenzie 三姉妹の Fiona。スコットランド・ゲリラックとアイルランド・ゲリラックの唄が 9 曲で英語の唄が 3 曲。深い森のふかふかした落ち葉のような唄だ。w. Fiona Mackenzie, Sandy Brechin, Chris Agnew, Richard Werner, Louisa Rafferty, Pat McGarvey。2011 作。Brechin All)
- *MATHEU WATSON:Matheu Watson C
 (録音時 20 歳の天才的フィドル&ギター系楽器奏者の鮮烈なデビュー作。Matheu は 2009 年に“Best Up And Coming Musician”賞に、2010 年に彼が在籍する Fred Morrison Trio が“Best Folk Band”賞にノミネート。2010 作。SEE001)
- *URACHADH B
 (北西ハイランドの人々の物語や歴史や音楽をテーマにした音楽。James Graham {ヴォーカル}, Catriona MacLeod {ヴォーカル、アコ、ホイッスル}, James Ross {ピアノ}, Carol-Anne Mackay {各種バグパイプ、ホイッスル、アコ、ヴォーカル}, Rhona Sutherland {フィドル、ギター、ブラスキー} の編成で、James と Catriona と Carol のゲリラック・ソングを中心にグループとしてゆるやかな連帯感を保ち、伝統歌と伝統音楽のバランスが取れ、ハイランドのトラッド音楽として味わいが深い。2010 作。Urachadh)
- *ALEX HODGSON:Jeelie Jars 'n' Coalie Backies B
 (A. Hodgson は大衆の人気の SSW で、伝統歌もうたうスコティッシュ・フォーク・ソング。その音楽は純粋にスコットランドのトラッドを志向するものではなく、大衆性のあるコンテンポラリー・フォーク。w. Kenny Hutchison, David Paton, James Mackintosh, Calais Brown, Kevin McGuire, etc. 2010 作。Greentrax)
- *GABE McVARISH:Eclection B
 (現在 Daimh のメンバーで、数々の著名バンドのレコーディングに参加し、現在フィドルの教師としても多忙なフィドラー、Gabe のソロ。スコットランドの曲を中心にアイルランドやケープ・ブレトンの曲を古いスタイル、新しいスタイル、先鋭的なスタイル等を使い分け、緩急自在に演奏してしまう小器用さは天才的。2010 作。Greentrax)
- *IVAN DREVER:Notes From An Island C

(Lau の Kris Drever のお父さんで元 Wolfstone のヴォーカルの Ivan の本作は、彼自身の歴史を振り返る回顧的内容で、オーケニーへの思いや家族への思いが綴られた唄達が穏やかな風のように流れる。Ivan の歌唱は滋味豊かで、どの唄も優しさが深い。ブックレットにはセピア色化したつつある家族写真が十数枚掲載されている。2010 作。Attic)

*CALUM MARTIN: An Dealachadh C
(Lewis 島のスコットランドのゲール語シンガーの C. Martin の本作は Runrig を想起させるスコットランドの薫り立つ潔いフォーク・ロック。これが実にかっこいいのだ。かっこいいだけではない。Isobel Ann Martin と Catherine Joan Martin の女性シンガーの唄がフィーチャーされた唄など女性がロック・シンガー特有の哀愁漂う優美な美しさを湛えていて、すっかり夢見気分。2010 作。Ridge)

*SIMON BRADLEY・LUKE PLUMP: Wintering Out C
(アイルランド系イリス人アイルッシュ・フィドルの S. Bradley とタスマニア島出身で Shooglenifty と Fine Friday のブラス・キ奏者の L. Plump のアイルッシュをメインにしたアイルランド～スコットランド～アストurias を繋ぐ心と魂が響き合う素晴らしい音楽。2004 作。Shoogle)

*SKIPINNISH CEILIDH HOUSE "The Scottish Music Show" C
(スコットランドのバーンのケリー・ハウスでのライブ。Rachel Walker {2 曲}, Mary Catherine MacNeill {"Fear a' Bhata" 他全 4 曲}, Angus MacColl, Archie MacAllister, Scot Wilson, Skipinnish, Sconaidh MacIntyre, Eilean Scalpaigh na Hearadh による全 13 トラック。2009 作。Skipinnish)

*CHRISTINE PRIMROSE ・ BRIAN O HEADHRA: An Turas B
(名実共に最高のロック・シンガーの C. Primrose とダブリン出身でアイルランドのゲール語を学んだ Anam のシンガー&ギター奏者の Brian とのスコットランドのロック・ソングとアイルランドのロック・ソングの謙虚でスピリットの高いトラック・アルバム。歌詞原詩&歌詞英訳付。2003 作。Anam Music)

*KEN CAMPBELL'S IDEAL BAND: Ken Campbell's Ideal Band B
(1980 年代に活躍したフォーク・ロック・バンドの Ideal Band の再結成アルバム。メンバーは Ken Campbell {ヴォーカル、12 弦ギター、リュート、ノサンブリアン・パイプス}, Seylan Baxter {チェロ、ヴォーカル}, Gavin Paterson {キーボード、ギター、ヴォーカル} の女性一名男性二名の計三名。ゲスト: Steve Lawrence, Wendy Weatherby, Hamish Moore。2009 作。Fellside)

*BRIAN McNEILL: The Baltic Tae Byzantium B
(副題 "Tales Of The Scots In Europe"。ご存知 Battlefield Band の創設メンバーで、マルチ演奏家で、現在 RSAMD の "Scottish Music" 部の学部長で、多くの若き音楽家を育てている B. McNeill のソロ。w. Dick Gaughan {ヴォーカル、ギター}, Patsy Seddon {ヴォーカル}, Sylvia Barnes {ヴォーカル}, Dominique Dodge {ハーフ}, Lorne MacDougall {ハイランド・パイプス}, etc. 2009 作。Greentrax)

*LAUREN MacCOLL: Strewn With Ribbons B
(2004/5 年の "BBC Radio2 Young Folk" 賞受賞の Lauren の 2 枚目。滅茶苦茶素晴らしいスコティッシュ・フィドル・アルバム。選曲は 1800 年前後の楽譜に収録されたハイランド地方の伝統曲と伝統曲からインスパイアされて自身が作曲した曲だが、前作同様 Lauren のハイランドの薫り発つ演奏の

素晴らしさは巍然としていて、神がかり的。疑いなくスコティッシュ・フィドル・アルバム最高傑作。2009 作。Make Believe)

- *CEOLBEG: Cairn Water B
(Wendy Stewart, Rod Paterson, Gary West, Peter Boond, Colin Paterson, Mike Travis から成るスーパー・スコティッシュ・グループの 99 年作。Wendy のエレクトリック・ハープの導入他実験的要素もある当時最前線のスコティッシュ・トラッド。今聴いても圧巻。Greentrax)
- *RACHEL HAIR: The Lucky Smile C
(アイルランド系スコットランド人ハープ奏者の R. Hair の 2 枚目は時折ギター、ベース、ドラムス、パーカッションが入る Catriona McKay 路線を目指す意欲作。Joy Dunlop なる女性シンガーがうたう 2 曲のガール・リック・ソングも聴き逃さない。むしろ二人、ヴォーカル&ハープのデュオで活動して欲しいと思うほどだ。2009 作。March Hair)
- *HAREM SCAREM: Storm In A Teacup C
(Nuala Kennedy が抜け、Eilidh Shaw, Ross Martin, Sarah McFadyen, Inge Thompson のスコットランドの名うてのトラッド・ミュージシャン 4 名による Harem Scarem の 2008 年作。Vertical)
- *HAREM SCAREM: Let Them Eat Fishcake C
(Eilidh Shaw, Ross Martin, Sarah McFadyen, Inge Thompson, Nuala Kennedy の女性 4 名と男性 1 名から成る新進気鋭のスコティッシュ・バンドの 2002 作。ゲスト: Kris Drever。Vertical)
- *FACE THE WEST: The Wishing Stone B
(Wolfstone タイプの Lewis 島の 4 人組スコティッシュ・フォーク・ロック・バンドの 2 枚目のよう。Keith Morrison の健やかなヴォーカルと彼らのスコティッシュ・トラッドの匂いを撒き散らす若々しいフォーク・ロックは気分爽快。めちゃ Good! 2008 作。West Studio)
- *THE MARTIN GREEN MACHINE "First Sighting" B
(Lau のアコ奏者 Martin Green のやりたい放題の実験音楽。ホーダレスな彼の音楽性からある程度想像していたが、やはりジャンル分け困難な実験的でユーモラスでお遊び感覚のクロスオーバー音楽。色彩感豊かで、遊園地音楽とでも言いたい音楽。彼はほっま遊び好きやな。子どものままの感性の音楽家。w. Inge Thomson, Barnaby Stradling, Tom Cook, etc. 2009 作。Navigator)
- *MALINKY: Flower & Iron B
(Malinky 4 枚目は、ヴォーカル&チェロの Fiona Hunter, ヴォーカル、ブスーキ他の Steve Byrne, ヴォーカル&ホイッスル他の Mark Dunlop, フィドルの Mike Vaas そしてギターの Dave Wood の強力ラインナップによる三人のシンガーのシンギングが光り、とびっきりのスコティッシュ・サウンドが飛び交う唄、音楽ともに、最高レベルでバランスの取れた傑作だ。2008 作。Greentrax)
- *MALINKY: Last Leave B
(Karine Polwart がヴォーカル。2000 作。Greentrax)
- *MALINKY: Ravens (Karine Polwart がヴォーカル。2002 作。Greentrax) B
- *MARK DUNLOP: Islands On The Moon B
(アイルランドの Antrim 生まれでスコティッシュ・トラッド・バンドの Malinky のシンガー兼ホイッスル&パーカッション奏者の M. Dunlop の初ソロ。2008 作。Greentrax)
- *KRIS DREVER ・ JOHN McCUSKER ・ RODDY WOOMBLE

- :Before The Ruin B
(スコットランドのトラッド・シーン最先端を走る K. Drever と J. McCusker に SSW
の R. Woomble のトリオによるびしっとかっこいいフォーク・ロック。w. Heidi
Talbot, Norman Blake, Michael McGoldrick, Andy Cutting, Phil
Cunningham, Ian Carr, Donal Show, etc. SSWファンも是非。2008 作。
Navigator)
- *DONNIE MUNRO:An Turas B
(スコットランド人のアメリカ移民の唄。ガール・リック・ソングを含む Donnie の入魂のフ
ォーク・ロック。Runrigファン必聴。2008 作。Greentrax)
- *DONNIE MUNRO:Field Of The Young B
(元 Run Rig のガール・ソングの Donnie の 2003 年のライブ。David Paton, Chaz
Steward, Dave Stewart 他のバンド編成でまるでもう一つの Run Rig
的スコティッシュ・フォーク・ロックでぐいぐい迫る。全 16 曲。スカ島の宝。2004 作。
トイツHypertension)
- *DONNIE MUNRO:Donnie Munro A
(スカ島でのライブ。Donnie の力強く美味しい唄が詰まった最高の 1
枚。SSWファンも是非！至福保証。2000 作。Vital Spark)
- *A CELEBRATION OF THE MUSIC OF GORDON DUNCAN B
(2005 年 12 月に急逝したパイプ・バンドの Gordon Duncan の名を冠し
た基金 [パイプ音楽と若手伝統音楽家支援が目的] 立ち上げコンサートの
ライブ CD。出演者は Dougie MacLean, Kris Drever with Eamonn Coyne
and Tim Edey, Duncan Chisholm, Maggie MacInnes, Session A9,
Jock Duncan, Allan MacDonald Eamonn Coyne and Kris Drever,
Ross Ainslie and Ali Hutton, Atholl Highlander's Pipe Band,
Jarlath Henderson and Eamonn Coyne and more。CD の売上は基金
に。2008 作。Greentrax)
- *EAMONN COYNE&KRIS DREVER:Honk Toot Suite a
(ダブリン出身のダンス・バンド・奏者 Eamonn と Lau のメンバーでソングで
セッション・ギター・の達人 Kris によるバンド・ギターとギターの掛け合いをベースに
したハイレベルなコラボレーション。バンド・音楽の多彩さとマジカな響きが自
由な空気感の中で存分に発揮されている。2006 作。Compass)
- *SIMON THOUMIRE-DAVID MILLIGAN:The Big Day In A
(コンサート・天才 S. Thoumire とジャズ・ピアニストの D. Milligan との即興
性あるスコティッシュ・ミュージック。スコティッシュ・トラッドの土俵の中で、新種の美し
い花を咲かせている。2001 作。Foot Stmpin')
- *ROBIN WILLIAMSON:The Celtic Bard C
(彼独特なハーフの弾き語りによる全 18 曲は、ハーフの魔法的響きが最
大限に生かされていて、他のハーフ奏者とは一線を隠した魔法的美
意識で貫かれている。2008 作。スウェーデンGason)
- *PEATBOG FAERIES:What Men Deserve To Lose C
(Shooglenifty と肩を並べるスコティッシュ・トラッド界の豪放な異端児バンド
の Peatbog の 2007 年作。パイプやフイドルやホイッスルはスコティッシュのメロディーを
高らかにうたい、エレキ軍団は熱風で煽る。前人未踏のスコティッシュ・ロックを
体現。横綱級。2007 作。Peatbog)
- *MAIRI SINE CHAIMBEUL:Tha I An Loch Aillse A
(女性スコットランドのゲール語シンガーによる名作。w. Mary Ann

- Kennedy, Seoras Campbell, Findlay Napier, Hamish Napier, Ali Hutton, James Graham, Gillebride MacMillan. 2007 作。Macmeanmna)
- *DAVY STEELE: Chasing Shadows B
(元 Battlefield の D. Steele の 97 年作。w. Sileas, Dick Gaughan, Alan Henderson, Brian McAlpine, etc. Hypertension)
- *ALASDAIR WHITE: An Clàr Geal C
(空前絶後最高レベルのケルティック・フィドル・アルバム。踊るフィドラーとも呼びたいほど様々なタイプの民俗性ある音楽を個々のリズムを楽しむように心と体で演奏する。w. Aaron Jones, Mike Katz, Ewen McPherson, Alison Kinnaird, etc. 2006 作。Temple)
- *ROSS KENNEDY: Scottish Voice & Acoustic Guitar B
(元 Tannahill Weavers で Iron Horse の創設メンバーで屈指のスコティッシュ・ギター奏者でトラッド・シンガーの R. Kennedy の本作はスコティッシュの高貴さと芳香に充ちた渾身のワ。2007 作。Greentrax)
- *ORKNEY FOLK "Traditional Music From The Islands" C
(Orkney Folk Festival 25 周年記念に制作された記念盤。全 19 ミュージシャン/グループによる全 19 曲。Wrigley Sisters, Rory McLeod & Aimee Leonard, Ivan Drever, etc. 2007 作。Orkney Folk Festival)
- *THE ORKNEY SESSIONS FROM THE AYRE HOTEL A
(全 17 トラック。95 作。Attic)
- *HARP HOUSE B
(Edinburgh Harp Festival からのライヴ。スコットランドのハープ奏者中心の名演奏集。収録順に Park Stickney & Rudiger Oppermann, Kike Pederson, Crasdant, Karen Marshalsay, Nuria Llopis Areny, Isobel Mieras, Graíne Hambly, Ann & Charlie Heymann, Calluna, Cliar, Catriona McKay & Simon Nieminski. 2005 作。Harp House)
- *GORDON PATTULLO: Fair Play C
(70 年代から活躍するアコーディオン奏者。ダンス曲オンパレード。91 作。Lapwing)
- *JAMES ALEXANDER: The Speyside Fiddler C
(Fochabers Fiddlers のリーダーでフィドラーの J. Alexander のワ。スコティッシュ・フィドルの香り高い純正スコティッシュ・フィドル・アルバム。純粋に土の香りするスコティッシュ・フィドルの味わいを味わいたい方への推薦盤。2005 作。CD-R。Ross)
- *KAREN MATHESON: Downriver B
(w. Donal Lunny, James Grant, Donald Shaw, James Mackintosh, Ewen Vernal. 2005 作。Vertical)
- *SHONA MOONEY: Heartsense A
(2006 年 BBC Scotland の Young Traditional Musician 賞優勝の女性スコティッシュ・フィドル奏者のデビュー作。w. Ian Stephenson, David de la Hays, James MacKintosh, Ali Vase. 2006 作。Foot Stompin')
- *SANDY MELDRUM: Scottish Piano Fusion B
(RSAMD の卒業生で天才的ピアノ&ピアノ・アコーディオン奏者のデビュー作。スコティッシュの名手達とアカパティックなセッションを繰り広げる一方でスローな曲でのピアノ・ワのセンスの良いしんみりとした泣き節も見事にまさしく両刀使い。2006 作。Greentrax)
- *DICK GAUGHAN: Redwood Cathedral (98 作。Greentrax) B

- *KATHRYN TICKELL+CORRINA HEWAT:The Sky Didn't Fall C
 (ノースパリアン・スモール・イズ&タイトル K. Tickell と先進的スコティッシュ・ハーフ
 の Corrina のデュエットはスコットランドとノースパリアントの伝統回帰かつ女性
 的優美さに包まれた音楽。二人は思い出の曲や馴染み深い曲を慈
 しむように演奏し、唄う。2006 作。Park)
- *JAMES ROSS:James Ross B
 (スコットランドの若手トラッド音楽家の優良養成学校 RSAMD 卒業でその後
 アイルランドのリムリック大学でピアノを学んだという James のスコットランド音楽
 と少しのアイルランド音楽のリズムとメロディーを自由に操り、お遊び感覚と
 夢想感覚を織り交ぜた水玉のように軽やかに弾む自由なピアノの音
 楽。Produced by Brian McNeil。2006 作。Greentrax)
- *JIMMY HUTCHISON:Corachree B
 ("Scots Songs&Ballads"シリーズ。2000 作。Traditional Beares)
- *ALISON McMORLAND:Cloudberry Day B
 ("Scots Songs&Ballads"シリーズ。2000 作。Traditional Beares)
- *ELLEN MITCHELL:On Yonder Lea B
 ("Scots Songs&Ballads"シリーズ。2002 作。Traditional Beares)
- *EILIDI MacKENZIE:Eideadh Na Sgeulachd(92 作。Temple) B
- *CHRISTINE PRIMROSE:Gun Sireadh, Gun Iarraidh B
 (2001 作。Temple)
- *CLIAR:Grinn Grinn B
 (ガリック・シンガーの親分 Arthur Cormack がリーダーのガリック・シンギング・ク
 ループの Cliar の 2005 作。Macmeanmna)
- *ARTHUR CORMACK:Ruith Na Gaoith(89 作。Temple) B
- *ARTHUR CORMACK:Nuair Bha Mi Og(92 作。Temple) B
- *STEVIE LAWRENCE:Standing Alone A
 (Iron Horse のギター奏者のソロ。2002 作。Lochsore)
- *SILEAS:Harpbreakers B
 (本作は日本で録音され、キングより 1990 年に発売された後にスコットラ
 ンドで発売された Sileas の 3 枚目。「かもめの水兵さん」の原曲収録。
 90 作。Lapwing)
- *WENDY STEWART:Standing Wave(2003 作。Greentrax) A
- *ALEX CAMPBELL:In Copenhagen B
 (65 年録音。65/2002 作。Storyville)
- *EWAN MacCOLL:Solo Flight72/2000 作。Topic) A
- *BELLE STEWART:Queen Among The Heather A
 (副題"Scots Traditional Songs And Ballads"。76 年録音。77/98 作。
 Greentrax)
- *BILLY CONNOLLY'S MUSICAL TOUR OF NEW ZEALAND ¥1500
 (SSW の B. Connolly のソロと想像しがちだが、実質的には Kate Rusby
 作"Wandering Soul" [Kate がヴォーカル担当] 以外の作曲を手がけた
 John McCusker のソロ的色彩が濃いスコティッシュなトラッド・アルバム。演奏仲間
 はいつもの Andy Cutting, Ian Carr, Michael McGoldrick, Ewen
 Vernal, Andy Seward, Kris Drever に John Doyle, Phil Cunningham,
 James Mackintosh, Eddi Reader という揺ぎ無い顔ぶれ。全 17 曲。
 2004 作。Pure)

- *FIONA KENNEDY:Maiden Heaven~Special Edition A
 (ケルティックなエンジェル・ヴォイスによる夢見心地スコティッシュ・トラッド。“Follow Me”のボーナス曲付。2004 作。Pixie)
- *IAIN MACKINNON:Best Seat In The House AD
 (Lewis 島出身と思われる SSW の美しきフォーク・ロック。全曲本人又は Mike Merritt のナムバ―だが、立ち昇る音楽性は Runrig 又は Donnie Munro に通じるもの。この Runrig 風なガッツある潔いそれでいてスコットランド独特な愁いのある伸びやかな Iain のヴォーカルとフォーク・ロックは気持ちいいもの。2003 作。Croft)
- *SCOTTISH WOMEN A
 (2002 年に行われた“Scottish Women”ツアーのライヴ音源をツアーの音楽ディレクターを務めた Brian McNeil が編集したもの。シンガーは Margaret Bennett, Elspeth Cowie, Ray Fisher, Annie Grace, Corrina Hewat, Mackenzie, Ishbel MacAskill, Mairi MacInnes, Maggie MacInnes, Anna Murray, Karine Polwart, Sheila Stewart, Sheena Wellington。全 16トラック。2004 作。Greentrax)
- *CATHERINE-ANN MacPHEE:Canan Nan Gaidheal A
 (女性がロック・ソングの傑作。93 作。Greentrax)
- *SINGING IN THE STREET A
 (副題“Scottish Children’s Songs”。Alan Lomax 他が 1951~57 年の間にフィールド・レコーディングした 56 曲。デジタル・リマスター。2004 作。Rounder)
- *LASAIR DHE “Flame Of God” B
 (ガールック語賛美歌をベースにしたガールック・ヴォーカル・アルバム。コンサート・ライヴ盤。Giar {Arthur Cormack, Mary Ann Kennedy, Ingrid Henderson, Maggie Macdonald, Bruce MacGregor, Chaz Stewart。唄も演奏も清々しい!}を中心に Kenna Campbell, Donnie Murdo のガールック・シンガーのソロそれにガールック合唱団による聖なる歌声。より人々の祈りの唄に近い賛美歌集。時折日本のご詠歌風。2001 作。Macmeanma)
- *WILLIAM JACKSON:Duan Albanach B
 (Ossian のリダーでスコティッシュ・ハープの真髄を追求する屈指のハープ奏者 William {Billy} Jackson の New は前半が自身のハープとティン・ホイッスルの演奏集で後半は 2002 年の Celtic Connections のライヴ。2003 作。Mill)
- *WILLIAM JACKSON:Celtic Chillout A
 (とりわけケルティックな優美さに充ちたハープ曲を選び抜いた 15 曲入編集 CD。ケルティックな夢心地... 2002 作。EMI)
- *ANGUS LYON&RUARIDH CAMPBELL:Simple Tricks B
 (共にチャンピオン奏者 {Angus はアコとピアノ、Ruaridh はフィドルとヴァイオリン}によるスコティッシュ味覚の憎い憎いデュエットで唸らせ、飲ばせる。古いスコティッシュの香りをキープしつつも演奏には若さと勢いがある。老若共に楽しめる見事なデュエットだ。w. Steve Lawrence, Duncan Lyall, Alan Train, etc. 2003 作。Lochshore)
- *ISHBEL MacASKILL:Essentially Ishbel B
 (Lewis 島出身のヴァレラン・ガールック・シンガーの Ishbel の 4 枚目は深くスコットランドの伝承歌に根ざした豊かで美しいガールック・ソング集。歌詞原詩 & 歌詞英訳付。2000 作。Ishbel MacAskill)
- *SHOORMAL:Migrant B

- (Joyce McDill, Freda Leask, Donna Smith それぞれのシガー - のヴァー
カがフィーチャーされたシトラッド のフォーク・グループ。2003 作。Greentrax)
- *THE LAGGAN: I Am The Common Man B
(ヴェテラン・トラッド・シガー - の Arthur Johnstone がヴァーカルの 4 人組。歌に
真っ直ぐなフォーク〜トラッド。2002 作。Lochshore)
- *LET SCOTLAND FLOURISH A
(Foot Stompin' 所属アーティストの編集 CD。全 14 曲。Cantrip, Liz Doherty
, Corrina Hewat...。2003 作。Foot Stompin')
- *ANDY M. STEWART・MANUS LUNNY: Dublin Lady a
(87 作。Green Linnet)
- *DOMHNALL R MACASGAILL: Gloir An Uain C
(CD-R。副題 "Traditional Gaelic Hymns&Psalms"。ガールックによるほ
ぼ無伴奏の祈りの唄。朗々とした唄声は澄んだ空気をも震わす。
2 曲の合唱はご詠歌を思い出した...。2001 作。Beracah)
- *JANET RUSSELL&CHRISTINE KYDD: Dancin' Chantin' B
(名盤。94 作。Greentrax)
- *JIM REID: The Better O' A Sang B
(元 Foundry Bar Band でヴェテラン・トラッド・シガー, J. Reid のトラッドを中心
にした琴線に触れるスコティッシュ・ソング集。全 19 曲。w. Stuart Duncan,
Scott Carnegie。96 作。Greylag Music)
- *JIM REID: Emfae Dundee B
(ギター、バンジョー、コンサーティーナ、エレクトロニック・パイプス等全て J. Reid の演奏で、
ダンディーの町ことを唄ったもの。朗々とある時はコミカルに...。Jim の
ワマン・バンド "The Tha' Ui Dae Ceilidh Band" が大活躍。2001 作。
Greylag Music)
- *JENNIFER&HAZEL WRIGLEY: Dancing Fingers A
(オークニー島の Jennifer&Hazel 姉妹のこれが 1 枚目。91 作。Attic)
- *JENNIFER&HAZEL WRIGLEY: The Watch Stone (2 枚目。Attic) A
- *BIRLIN' FIDDLES B
(メンバーは Jennifer Wrigley, Alan Henderson, Julia Legge, Sandy
Wright。Foot Stompin')
- *THE ORKNEY SESSIONS A
("From the Ayre Hotel"。毎年 5 月下旬に開かれている「オークニー・フォ
ーク・フェス」のメイン会場になる Ayre Hotel。その軒下に集うトラッド・ミュージシ
アン達によるセッション・ライブ。全 40 曲。アリッシュ・パブならぬオークニー・パブの熱
気。95 作。Attic)
- *THE EASY CLUB: Chance Or Design B
(85 年作の 2 枚目。オランダ Frea)
- *BOGHALL&BATHGATE CALEDONIA PIPE BAND
: Inspired In Belfast (2001 作。Monach) A
- *ALBERTA CALEDONIA PIPE BAND: They Took Their Leave A
(2001 作。Monach)
- *FRED MORRISON: The Sound Of The Sun (Lochshore) A
- *THE GAUGERS: No More Forever C
(ヴェテラン・トラッド・バンド "Gaugers" の 4 枚目。ライヴ等彼ら
録音曲の中でも選りすぐりの録音曲を編集し、故 Peter Hall に捧

- げたアルバム。2000 作。Sleepytown)
- *ANNE MARTIN:Co..? A
(副題"Gaelic Song from the Isle of Skye"。人気盤。w. Fiona MacKenzie, Sandra MacKay, Iain MacDonald, Malcolm Jones, Ingrid Henderson, Iain MacFarlane, etc. 98 作。Whitewave)
 - *ELSPETH COWIE:Naked Voice A
(Chantan, Seannachie のヴォーカルで"Complete Robert Burns"でもお馴染みのトラッド・シンガーの正にタイトル通りの化粧なしのトラッド集{1 曲 S. Denny 作"Fotheringay"を含む}。歌詞&解説付。Scotfolk)
 - *WORLD LIBRARY OF FOLK&PRIMITIVE MUSIC "Scotland" B
(Compiled&Edited by Alan Lomax. 98 作。Rounder)
 - *SHEILA STEWART:From The Heart Of The Tradition A
(スコットランドの偉大なトラッド・シンガー故 Bella Stewart の娘 Sheila {1937 年生まれ}のハリのある孤高のシンガー。全曲無伴奏。"Queen among the Heather", "Blackwaterside", "Glencoe", "The Nobleman's Wedding"等トラッドの重要曲全 20 曲。詳細解説付。2000 作。Topic)
 - *ANNA MURRAY:Out Of The Blue(94 作。Lochshore) A
 - *ANNA MURRAY:Into Indigo(96 作。Lochshore) A
 - *ANNA MURRAY:Tri Nithlean(99 作。Lochshore) A
 - *CALANAIS ¥1680
(ルイス島の古代巨石保存を目的に制作された編集 CD。Sileas, Dougie Maclean, Phil Cunningham, Anna Murray, Blair Douglas, Martin Taylor, Mary Smith, Ian Stephen, etc. 95 作。An Lannatair)
 - *ROBIN LAING:Imaginary Lines A
(エディンバラ出身のフォーク・シンガー-R. Laing の 4th. w. Ammy Geddes, Brian McAlpine, Wendy Wethery, etc. 99 作。Greentrax)
 - *JEAN REDPATH:Think Of Me A
(心の奥底にまで響くスコティッシュ・ソング集だ。w. Sue Richards {ハーブ}、Abby Newton {チロ}、Jay Unger {フィドル}、Jacqueline Schwab {ピアノ}。全 16 曲。歌詞&曲目解説付。98 作。Jean Redpath)
 - *ROBIN WILLIAMSON:Ring Dance A
(Incredibleファン好みの会心の作。98 作。Pig's Whisker)
 - *ROBIN WILLIAMSON:Memories(7 曲入。97 作。Pig's Whisker) ¥525
 - *DANNY KYLE:Heroes And Soft Targets A
(人間味漂う中年フォーク・シンガー。ギター&バンジョーの弾き語りでも和りとさせる。SSW 調からトラッド調まで、マイペースで気持ちいい。98 作。Iona)
 - *GEOL NA PIOBA-PIOB MHOR B
(副題"A Concert of Piobaireachd from the 1999 Edinburgh International Festival"。2000 作。Greentrax)
 - *THE WORLD PIPE BAND CHAMPIONSHIPS VOLUME 1 1998 A
(Nonarch)
 - *THE WORLD PIPE BAND CHAMPIONSHIPS VOLUME 2 1998 A
(Nonarch)
 - *SOUTHERN GAEL "Dalewood Auckland&District Pipe Band" A
(ニュージークランドのパイプ・バンド・チャンピオン。Nonarch)

*NORTHERN LIGHTS "Live From The Lemon Tree" A
(Old Blind Dog, Tony McManus, Tannas, Anna Murray, Iron Horse,
Drop The Box, Conterach, Lorelei によるライブ。1996 作。Lochshore)

[CD/USA {トラッド、アパッチアン他}]

*CLASSIC ENGLISH AND SCOTTISH BALLADS A
(本作は「チャイルド・バラッド」として知られる Francis James
Child のバラッドのコレクションの中からイングランドとスコッ
トランドのバラッド集で、Smithsonian Folkways の音源から厳選
した 21 曲を収録した編集盤。うたうは、Ewan MacColl, Jean
Ritchie, Pete Seeger, Mike Seeger, Margaret MacArthur, Paul
Clayton, New City Ramblers, Lead Belly 等々、Ewan MacColl 以外
は米国のフォーク・シンガーによるバラッドは、イングランド&
スコットランド音源のバラッドの味わいとは異なって、唄に生活
感があるというか、音楽がまるっこくて、米国っぽいのが面白い。
P40 のブックレットは、一旦ケースから取り出したら、ケースに収
めるのが大変なくらい分厚い。2017 作。Smithsonian Folkways)

1. Lord Thomas and Fair Ellender (Child No. 73)
2. Golden Vanity (Child No. 286)
3. The Mermaid (Child No. 289)
4. Mathie Groves (Child No. 81)
5. The Hanging of Georgie (Child No. 209)
6. Gypsy Davy (Child No. 200)
7. Thomas the Rhymer (Child No. 37)
8. Lady Margaret (Child No. 74)
9. Lord Randall (Child No. 12)
10. Pretty Polly and False William (Child No. 4)
11. Andrew Batan (Child No. 250)
12. Three Nights Drunk (Child No. 274)
13. Lord Bateman (Child No. 53)
14. The Two Sisters (Child No. 10)
15. Gallis Pole (Child No. 95)
16. Lord Barnett (Child No. 68)
17. The False Knight Upon the Road (Child No. 3)
18. Barbara Allen (Child No. 84)
19. The Great Silkie of Sule Skerry (Child No. 113)
20. The House Carpenter (Child No. 243)
21. The Farmer's Curst Wife (Child No. 278)

*SONGS OF CHRISTMAS FROM THE ALAN LOMAX COLLECTIONS D
(お宝発掘。Alan Lomax が英国、アイルランド、イタリア、スペイン、
米国南部、カリブ海地域で収録したクリスマス音楽と宗教音楽。
Bob&Ron Cooper, Ewan MacColl, Seamus Ennis, Sacred Harp
Singers Georgia Sea Island Singers 他による 31 曲。全在庫品ラ
ップ包装なし。1998 作。Rounder)

*MR. MARTIN SIMPSON & MR. DOM FLEMONS
: A Selection Of Ever Popular Favourites A

(2015年の秋に Martin Simpson と Carolina Chocolate Drops の創設メンバーでアメリカン・ソングスターの Dom Flemons がデュオを組んで、コンサートを行ったときのライヴ。曲目は米国の白人黒人の枠を超えた古き良き音楽。Martin ファンが聴けば、Martin の米国趣味の音楽に大衆性が増したように聞こえて、面白いだろうし、Dom Flemons のファンが聴けば、米国庶民の古き良き娯楽音楽に品性が備わったように感じられて、新鮮な印象を持つだろう。米英の個性派が混ざり合って、ある種異種交配的な面白さもある米国の古き大衆音楽の世界だ。2016 作。Fledg'ling)

*DANA LYN & KYLE SANNA: The Great Arc A
(Dana Lyn [フィドル、ヴァイオリン] と Kyle Sanna [ギター] のアイルランド系ではない二人の才能ある演奏家兼作曲家による耳に新鮮なアイリッシュ。二人が共演した演奏家は Martin Hayes & Dennis Cahill, Gillian Vallely, Kevin Burke, Susan McKeown。彼らのアイリッシュのベースになる音楽は、Martin Hayes & Dennis Cahill。Dana は Martin Hayes スタイルのフィドルを感性優先で膨らませ、Kyle はアイリッシュにとられない独自のギター演奏で飾る。Dana&Kyle の Martin&Dennis+α の独創性を加えたアイリッシュ風音楽もすこぶる魅力的。ゲスト: Mick McAuley。米国盤だが、ラップ包装無し。2015 作。Dana Lyn&Kyle Sanna)

*OLD SALT: Up River Overseas A
(Old Salt は米国人一名、スコットランド人一名、ベルギー人三名、スウェーデン人一名で二姫四太郎の六人組。核になる音楽は米国人シンガーでバンジョーとフィドル担当の Dan Wall の音楽性、それはアパラチアン音楽とオールドタイム・ミュージック。Dan Wall 自身がその系統のシンガーとして、ミュージシャンとして秀でた才能の持ち主で、他国の音楽仲間の手を借りて、その系統の音楽の最前線のハイブリッドな音楽を創作していて、お見事。加えて、ヨーロッパの古風なジプシー音楽のサウンドもご披露。2016 作。Appel)

*THE LASSES: Daughter A
(オランダの女性フォーク・デュオだが、便宜上ここで。二人ともヴォーカル&ギターの Margot Limburg&Sophie ter Schure の二人がうたうのは、米国、イングランド、スコットランド、アイルランドの伝統歌と Kate Rusby や Richard Thompson 等のフォーク系シンガーの作曲曲。計 13 曲。ユニークなのは、二人のフォークは米国トラッド/フォークっぽいこと。アパラチア民謡風というか、ある種米国フォークの原点的な滋味豊かなフォークの味わいは格別。2015 作。The Lasses)

*LINDSAY STRAW: My Mind From Love Being Free A
(ボストンのアイリッシュ・バンドの Ivy Leaf のメンバーで、シンガーでギター&ブズーキ奏者の Lindsay Straw 嬢のソロ。本作はこの約 10 年の間に彼女が熱中して来た英国とアイルランドの伝統歌をギターやブズーキの弾き語りであつたもので、ブリティッシュ・フォーク風の芳香と清涼さ放つサウンドを伴って、彼女の朝露のように清々しく、まっすぐな唄たちは、心の中にずっと

しみ通る。まるで、彼女が初めて伝統歌と出逢ったときの初々しい感動が、そのまま表現されたかのように、一曲一曲が芯が強く、清く、美しい。CD 収納型紙ジャケット 2015 作。Lindsay Straw)

*GALLOWGLASSES: Mortar Bricks And Lime A

(二枚目が人気の米国サンフランシスコの四人組ケルティック・トラッド・バンド "Gallowglasses" の一枚目。メンバーは、Lee White {ヴォーカル、フィドル}、Donovan Ryan {ヴォーカル、ギター}、Michael McNelly {ブラスキー、マンドリン}、そして Molly's Revenge の Mark Boronkay {ギター、マンドリン}。こちら一枚目は Donovan Ryan with Gallowglasses 的内容で、ヴォーカルの Donovan の音楽性、それは Andy Irvine の音楽性と重なり合う。ブラスキーをフィーチャーしたサウンドといい、Andy 風のシンギングといい、アイルッシュとフォークの両要素をバランスよくブレンドされていて、円やかで落ち着いた味わいのアイルッシュ風トラッド/フォークを醸成している。最後の "Paddy's Green Shamrock Shore" は Paul Brady 風ですがね。CD 収納型簡易紙ジャケット。2013 作。Gallowglasses)

*MOLLY'S REVENGE: The Western Shore a

(John Doyle がプロデュースの本格的ケルティック・ミュージックアルバム。アンサンブルの醍醐味と味わいはアイルランドやスコットランドのトップ・バンドの風格。ダンス曲を中心とした演奏のみならず、2 曲でヴォーカルを取る Moira Smiley のしっとりとした凜としたシンギングが素晴らしい。Paul Brady の名唱でお馴染みの "I Am A Youth Included To Ramble" はトラッド・ファンを骨抜きにする。北米に凄いバンド。2008 作。Molri Music)

*ALICE GERRARD: Bittersweet A

(かれこれ 40 年以上にわたって、アメリカン・ルーツ音楽の第一線で活動してきた Alice の 10 年ぶりの本作は、全曲自作作曲の深い味わいのある素晴らしい SSW/フォークアルバム。体の中から湧き上がるようなリラックスした唄は、いぶし銀のアメリカン・ルーツ・サウンドを伴って、ある時は心に沁み、またある時は心を和らげ、またある時は心をほがらかにさせる。いぶし銀のアメリカン・ルーツ音楽の名品だ。w. Laurie Lewis, Stuart Duncan, Bob Ickes, Bryan Sutton, Todd Phillips, Tom Rozum, etc. 2013 作。Spruce And Maple Music)

*SARA GREY: Down In Old Dolores A

(一曲目の "Bright Sunny South" 米国古謡の世界にどっぷり。バンジョーを弾きながらうたう、この素朴な古謡が何とも渋くて良い味わいなのだ。Sara が長年米国の古謡を収集し続けて生まれた素晴らしい米国古謡の世界。w. Kieron Means {ギター、ヴォーカル}、Ben Paley {フィドル}。曲目解説付。全 15 曲。2014 作。Fellside)

*MINNIE & THE ILLYWHACKERS: Make Me Yours A

(アイルランドからご機嫌なオール・アメリカン・ミュージック "ショー" バンドが登場。ユニークなのはウケルがフィーチャーされていて、古臭いジャズ等でスウィングしていること。ウケルが音頭を取る中、古っぽいジャズやカントリーやブルースやポピュラー・ミュージック等がほどよく混ざり合った文字通りのゲットタイム・ミュージック。サウンドのすべてがリズムが楽しく躍るように心地よい。古っぽい音楽の心地よさも最高だが、シガーの Minnie の唄はセピア色の古色を帯びつつも、風に乗るような軽やかな歌声でうっとり。2013 作。Rualia)

- *WILLIAM PINT & FELICIA DALE:Blue Divide A
 (Whiskey Is The Life Of Man”で華々しく幕開けする W. Pint {ウオカ、ギター、マンドリン}&F. Dale {ウオカ、ハーモニカ、ギター、フィドル、ホイッスル} の新譜は、海の生活と海の唄を愛する二人の気持ちが上気した唄と、そんな唄と一体化したケルティック・ロックにばっちり生き写しされている。この喜びに満ちた唄と音楽はもう滅茶苦茶最高。William のウオカなんぞは、舌がもつれるのでは？と心配になるほど、うたいまくっている。音楽もノリがよくって、踊りだしたくなってしまうほど。海好きの音楽ファンのみならず、全トラッド・ファンは上昇気流を巻き起こす重層的ケルティック・サウンドに血わき肉おどるに違いない。夏はこれを浴びて、海水浴気分！2013 作。Waterbug)
- *PATRICK BALL:The Wood Of Morois B
 (P. Ball が爪弾く金属弦ハーブによるほぼ「ケルト」回帰の本作は、音色の一音一音が細やかで美しく、それぞれの地域の音楽の特性を擁護しつつ、優麗な音色で奏でたこの上なく美しいケルティック・ハーブ・ミュージックアルバムとして結実している。2010 作。Celestial Harmony)
- *HANNEKE CASSEL:For Reasons Unseen A
 (ホストン生まれの米国スコティッシュ・フィドル・チャンピオンでアイルッシュ・グループの Cathie Ryan Band でも活動するスコティッシュ・フィドル+アイルッシュ・フィドル+オリジナリティーで一步先を行く美人フィドラーの華のあるケルティック・フィドル・ミュージック。w. Alasdair Fraser, Natalie Haas, Rushad Eggleston, Casey Driessen, Brittany Haas, Keith Murphy, Aoife O’ Donovan。2009 作。Hanneke Cassel)
- *EUROPEAN WORLD OF BLUEGRASS 2006 A
 (ヨーロッパと北米のブルーグラス・グループの編集盤。全 25 曲。2006 作。オランダ Strictly Country)
- *ROBIN & LINDA WILLIAMS:Live In Holland A
 (92 作。オランダ Strictly Country)
- *SKYLAND:Moon Over The Water (2003 作。オランダ Strictly Country)
- *CONNIE DOVER:The Border Of Heaven (2000 作。Taylor Park) A
- *RACHEL HARRINGTON:The Bootlegge’s Daughter A
 (2008 年作の“City Of Refuge”が好評の Rachel の 2007 年作のデビュー作。Rachel は不思議な物語や彼女が住むオレゴン周辺の田舎生活を送る彼女の個人的な唄などを古い伝承歌を口づさむように淡々と唄う。音楽性は様々だが、自身の足場に立脚し、時代を縦に眺めた田舎娘らしい天真爛漫な音楽が楽しい。2007 作。Skinnydennis)
- *KELLY CARMICHAEL:Queen Fareena A
 (古き良きアメリカン・ミュージックの世界へと誘うくすぐったいほど馬鹿馬鹿しく愉快的な音楽。ハンゾーやギターを爪弾きうたう Kelly の頭の中はラグタイムや古いデルタ・ブルースやストリング・バンドのブルースやテキサス等が鳴り響いているに違いない。まるで 18 世紀か 19 世紀のミシシッピ川を遊覧する豪華客船の娯楽バンド。古き良きアメリカン・ミュージックの最高“お笑い”傑作。2008 作。Dogstreet)
- *TODD MENTON:Where Will You Land a
 (元 Boiled In Lead の T. Menton の 2003 年作。アメリカン・フォークであろうが、ブリティッシュ・トラッドであろうが、アイルッシュであろうが、シー・ジャンプであろう

が、向かう姿勢が根源的。アハラチアの山奥に引き込んだと思いきや
今度はパワフルなフォーク・ロックで歓喜させる。2003 作。New Folk)

- *LEHTO & WRIGHT: The Thrashing Machine a
(Lehto&Wright の二人組。アコースティックとエレクトリックが混在しているが、沸
き上がる香りはヴォーカルを含めて気高いブリティッシュ・トラッド。Richard
Thompson や Dick Gaughan や Christy Moore のレパートリーやトラッドを毅
然とカッコ良く演唱する。Lehto はエレキ・ギターもカッコイイがアコースティック・ギ
ターも素晴らしい。完璧に二人の想い入れの強い憧れのブリティッシュ・ト
ラッドの美意識で律せられている。2007 作? New Folk)
- *LAURA MacKENZIE: Evidence A
(アイルッシュ・フルトを中心に各種バグパイプを演奏し、ゲリラックを含む唄もう
たう Laura の本作はアイルッシュを中心にスコティッシュそしてブルネウ等カルト圏
の唄と音楽を共演者をとっかえひっかえ演唱する。共演者は Altan
の Daithi Sproule {ギター、ヴォーカル}, Dean Magraw {ギター}, Andrea
Stern {ハープ}, Dick Ree {アコ}, John Wright {ベース}, Sean Egan {クラリネット}。
2003 作。New Folk)
- *GOLDEN BOUGH: Far From Home (Golden Bough Music) A
*GOLDEN BOUGH: Live B
(25 周年記念ライブ。全 14 トラック。2006 作。ARC Music)
- *JODY MARSHALL: Cottage In The Glen A
(Magical Strings のような身を清められるようなケルティック・アンサンブル
からダイナミックなケルティック・アンサンブル。Jody の H. ダルシマーはうたいおどる。
共演者は Grace Griffith, Amy White, Al Petteway, Karen
Ashbrook, Zan MacLeod, etc. 2007 作。Maggie's Music)
- *JEAN RITCHIE: Field Trip A
(1954 年作の再発 CD。全 21 曲。54/2001 作。Greenhays)
- *SYLVIA HEROLD&EUPHONIA: Lovely Nancy A
(Wake The Dead のヴォーカルでグエテラン・トラッド・シンガーの 3 枚目。Euphonia
のメンバー 3 人の内二人は Wake The Dead のメンバーで Wake のベースの Danny
Carnahan も数曲でデュエットでお手伝い Sylvia の姿勢はよりシンガーと
して伝承歌の本質に迫る真摯なもので一曲一曲が心に迫るもの。
2005 作。S. Herold)
- *MAGICAL STRINGS: Where Dragons Dance ¥500
(結成 25 周年の Magical Strings の本作は彼等の集大成的であると
同時に新たな地平を予感させる音楽。Grainne Hambly や Liam
O'Flynn や Mary Bergin 等のアイルッシュ・ダンス曲やフラスケット島のアイルッシュ・
エア等アイルッシュをベースにマダガスカルのカリをフィーチャーした異国情緒な音
楽に加え、中国風味のタイトル曲とモンゴルの曲 "Gandii Mod" 等も。CD-
ROM 機能では "25 Years of Family, Friends, Loving&Sharing" と題
が付され、アイルランドの島でのスナップ写真を中心に故 Derek Bell との
写真や家族の写真が閲覧できる。2004 作。Alula)
- *MAGICAL STRINGS: Legend Of Inishcahey A
(西アイルランドの音楽にインスピレーションを得た Magical 独特なケルティック・ミュージ
ックの世界。99 作。Magic Hill Music)
- *KEN KOLODNER: Journey To The Heartland A
(グエテラン・ハンマー・ダルシマー奏者によるアハラチア&オールタイムからケック&ケーフ・

- ブレソそしてスコットランドまで姉妹音楽の旅。自分のルーツの視点から姉妹音楽に全身全霊でアプローチしてるのが偉い。w. Robin Bullock, Laura Risk, Elke Baker, Paddy League。2005作。Maggie's Music)
- *DEBRA COWAN: The Long Grey Line B
(彼女のシンギングはRay Fisher, Gordeanna McCulloch, Christine Kydd仕込み。主にイングランド、スコットランド、アイルランドのトラッドを澄んだ美声と情緒あるアコースティック・サウンドで酔わせる。2001作。Debra Cowan)
- *BOILED IN LEAD: Alloy ¥2980
(希少録音曲を含む Boiled In Lead の15年の歴史をまとめた1000枚限定ハード・ボックス入3枚組CD。内1枚はライブ。全48曲。ボックスに1000枚の内の何枚目かの番号が打たれている。98作。Omnium)

[DVD/CANADA] NTSC all regions

※国内製DVDプレーヤーで再生可能

- *ASHLEY MacISAAC: Live At The Rehearsal Hall B
(Ashley MacIsaac&bandによるスタジオ・ライブ。ロック・バンドを従えての血沸き肉おどるライブ。圧巻。2002年5月収録。57分。Linus)

(CD+DVD/CANADA (Celtic)) PAL all regions

- *LOREENA McKENNITT: Nights From The Alhambra ¥2980
(2006年9月スペインのアルハンブラの宮殿でのライブ。2枚組CDと1DVDのセット。CDはDVDのオーディオ版。全18トラックでDVDは140分。w. Nigel Eaton, Brian Hughes, Steafan Hanningan, Hugh Marsh, Panos Dimtrakopoulos, Sokratis Sinopoulos, Haig Yarzdzian, etc. 2007作。Quinlan Road)

[CD/CANADA (トラッド他)]

- *FASTA: Un Canadien Errant B
(カナダの"Traditional Singer of the Year"賞受賞のケベックの女性トラッド・シンガーでフィドラーのSophie LavoieとケベックのギタリストのAndré Marchandとコネマラ出身のアイルランド人イリアン・パイプス&バンジョー奏者のFiachra O'Reganのトリオ。ケベックのトラッドとアイリッシュが混ざり合った音楽の意外に新鮮で爽快なこと! Sophieのシンギングとフィドルはケベック・トラッドの伝統の味わいを披露しつつも、音楽はアイリッシュのノリを混ぜ合わせていて、凄く魅力的で心に響いて、楽しめる音楽。2016作。Fasta)
- *TICKLE HARBOUR: Battery Included A
(Tickle Harbourの創設者はRed Islandの創設者でギタリストのDon Walshで、Tickle Harbourでヴォーカル、ギター、バウロン、コンサティナ他を担当するFergus O'Byrneは元Ryan's Fancy。二人を除いた他のメンバーはVonnie Barron{ヴォーカル}、Patrick Moran{フィドル}、Gerry Strong{ティンホイッスル、フルート}、Francesca Swann{チェロ}。驚くのは曲の多数を占める各種ダンス曲の演奏の素晴らしさだ。Chieftainスタイルだが、演奏力が卓越している上に、音楽のエネルギーはパブ・セッションのセッションの高さをキープしている。ゲスト: Seamus Creagh, Paddy Keenan)

他。1998年。Singsong)

- *LE VENT DU NORD:Tetu B
(ケックのトラッド・バンドのLe Vent Du Nordの通算八枚目に当たる新作。これまでもそうだったが、Le Ventは4人編成〔楽器編成はギター、ブズーキ、ハーモニカ、ギター、アコ、ベース、ボンバルド、フィドル、マンドリン他〕で固め、ケック・トラッドのルーツの音楽を固持し、ケック・トラッド特有のダンス音楽のリズムを最大限に生かし、活気ある今日のケック・トラッドを創作する。ダンスのリズムに乗ってうたわれる唄の数々はケック・トラッドの独特な味わいを発散する。2015作。Borealis)
- *WENDY MacISAAC:Off the Floor C
(ケプ・ブレトンのフィドルの名手のWendy MacIsaacのおよそ10年ぶりの新作。Tracey Dares MacNeill〔ヒア〕とPatrick Gillis〔ギター〕を誘って、ライブ録音盤を出そうと録音を始めたのが、2005年。この年に録音したのが最初の5トラック。そしてそれから9年後に二人を誘ってまた録音。滅茶苦茶凄い。皆さん、カナダの東の端まで行かずとも、ケプ・ブレトンの音楽が疑似体験できますよ。2014作。Wendy MacIsaac)
- *MARY JANE LAMOND:Suas E! (1997作。カナダA&M) A
- *LE REVE DU DIABLE:Delires Et Des Reels A
(79年作の3枚目。彼等のケック・トラッド色濃厚な土臭い演唱は今聴いても鮮烈。ケック・トラッドの模範。79作。Tamanoir)
- *LOREENA McKENNITT:Elemental A
(リマスターマルチメディア機能付CDとDVDの2枚組。限定盤。85/2004作。Quinlan Road)
- *LOREENA McKENNITT:Parallel Dreams A
(リマスターマルチメディア機能付CDとDVDの2枚組。限定盤。89/2004作。Quinlan Road)
- *LOREENA McKENNITT:The Visit A
(リマスターマルチメディア機能付CDとDVDの2枚組。限定盤。91/2004作。Quinlan Road)
- ※DVDは国内プレイヤー再生可能。
- *LOREENA McKENNITT:Winter Garden a
(5曲入CDシングル。95作。Quinlan Road)
- *ANDREA CAPEZZUOLI E COMPAGNIA:Suonato Coi Piedi! C
(イタリアのケック・トラッド・バンド。La Bottine SourianteやLe Vent Du Nordとも交流のある本格派だ。2008作。FolkClub Ethnosuoni)
- *THE BARRA MacNEILS:Christmas Album A
(軽快なジグで幕開けするMacNeils兄妹バンドによるクリスマス・アルバムはアイリッシュ〜ケプ・ブレトンの伝統音楽色を色濃く打ち出しつつ、クリスマスに家族兄弟で祝う優しさとしらべり溢れるもの。ゲール語のアカラやステップ・ダンスも有り。クリスマスにケプ・ブレトンの伝統音楽一家の楽しいクリスマス・ケリーに迷い込んだ感触。2006作。Fontana)
- *THE BARRA MacNEILS:Rock In The Stream(89作。PolyGram) A
- *THE BARRA MacNEILS:Closer To Paradise(93作。PolyGram) A
- *THE BARRA MacNEILS:The Traditional Album A
(94作。PolyGram)

- *THE BARRA MacNEILS:The Question(95作。PolyGram) A
- *THE BARRA MacNEILS:Racket In The Attic A
(2000作。Barratone)
- *NATALIE MacMASTER:Fit As A Fiddle B
(カナダ盤原盤にて入荷。93作。カナダ Warner)
- *NATALIE MacMASTER:My Roots Are Showing B
(カナダ盤原盤。98作。カナダ Warner)
- *NATALIE MacMASTER:In My Hands B
(カナダ盤原盤。99作。カナダ Warner)
- *NATALIE MacMASTER:No Boundaries(96作。WEA) B
- *NATALIE MacMASTER:Blueprint(2003作。Rouder) A
- *PAMELA MORGAN:On A Wing And A Prayer B
(ニューファンク・ラントのトラッド・ロック・バンドのヴォーカル。Pamelaのおおやかな口。うっとり…。"Blackwater Side"を含む11曲。96作。A&M)
- *FIGGY DUFF:Weather Out The Storm(3rd。宝物。Amber Music) A
- *FIGGY DUFF:Down Stream(4th。Amber Music) A
(フェアポート・スタイルのニューファンク・ラントのフォーク・ロック・バンドの老舗)
- *KATE AND ANNA McGARRIGLE
:The McGarrigle Christmas Hour A
(Kate&Annaのクリスマス・アルバム。Rufus&Martha Wainwrightもほとんどのメンバーでヴォーカル参加。今昔家族の写真を眺めながら聴こえてくる音楽はKate&Annaの家庭的だが、ひと味もふた味も違うクリスマス音楽。2005作。Nonesuch)
- *ASHLEY MacISAAC:Close To The Floor(デビュー作。92作。A&M) A
- *ASHLEY MacISAAC:Hi How Are You Today? A
(95作。Ancient Music)
- *ASHLEY MacISAAC:Fine Thank You Very Much A
(96作。Ancient Music)
- *ASHLEY MacISAAC:Ashley MacIsaac B
(神懸り。絶品。w. Mary Jane Lamond, Lisa MacIsaac, etc. 2002作。Decca)
- *ASHLEY MacISAAC:Live At The Savoy B
(ケープ・ブレトン・フィドル界のAshleyのすっぴんフィドルライブ。入魂のケープ・ブレトン・フィドル! 2004作。Linus)
- *STAN ROGERS:From Coffee House To Concert Hall B
(未発表ライブ集。全20曲。99作。Fogarty's Cove)
- *HART-ROUGE:Jai Fait Un Reve B
(フレンチ・カナディアン・トラッド・バンドのHart-Rougeの本作ハイテクの機械的な、あるいはロックっぽい、あるいはアフリカンっぽい味付けで挑発的。2001作。Universal)
- *RAWLINS CROSS:Reel'n' Roll(93作。Ground Swell) A
- *RAWLINS CROSS:Living River (96作。Ground Swell) A
- *RAWLINS CROSS:Celtic Instrumentals(97作。Ground Swell) A
- *DAVE MacISAAC:Nimble Fingers C
(D. MacIsaacは知る人ぞ知るケープ・ブレトンのケルティック・ロック・ギターの名手。得意のフェンダーのエレクトリック・ギターのケルティック・ロックとアコースティック・ギター、フィドル)

ル、マンドリン、トブラ等によるアコースティック・ケルティック・トラッドの両刀使いで唸らせる。全19曲。95作。Pickin' Productions)

- *RITA&MARY RANKIN:Lantern Burn(デビュー作。宝物。Ingold) C
- *RON HYNES:Face To The Gale A
(Mary Black の名唱で有名な“Sonny's Dream”の作者。“Sonny's Dream”も収録のケルティック・トラッド系SSWの97年作。w. Pamela Morgan, etc. 97作。EMI)
- *ANITA BEST:Crosshanded A
(民謡研究家でトラッド・シンガー、Anita 女史の無伴奏ソロ。ニューファンドランドの伝承歌集。w. Pamela Morgan。曲目解説付。97作。Amber)
- *YVES LAMBERT:Les Vacances De Monsieur Lambert A
(La Bottine Souriante のリート・シンガー&ホックス奏者 Yves の懐の深いソロ。傑作。98作。Mille-Pattes)
- *LES BATINSES:Tripotages(2000作。Mille-Pattes) A
- *LES REJOUISSANCES C
(2枚組CD。70年代活躍したケックのトラッド・バンド/フォーク・ミュージシャンによるライヴ。Le Reve Du Diable, Alain Lamontagne{彼は約20年前当時八王子のタホリンを訪れたことがある、ハーモニカを持って}、Quebreizh, Michael Garneau, etc. 77録音。Tamanoir)

[CD/AUSTRALIA]

- *MARTYN WYNDHAM-READ:Undiscovered Australia C
(1996作。Musica Pangaea)
- *MARTYN WYNDHAM-READ & NO MAN'S BAND:Back To You C
(2010作。Wynding Road)
- *MARTYN WYNDHAM-READ:Starlit Skies(2012作。Wynding Road) C
- *KATE BURKE&RUTH HAZLETON:Swapping Seasons B
(オーストラリアの女性ヴォーカル・デュオの珠玉の3枚目。2002作。Kate&Ruth)
- *KATE BURKE & RUTH HAZLETON:Summer's Lonesome Tale B
(音楽的にはアイルランドとイギリス系フォーク・ミュージックとアメリカのオルド・タイム・ミュージックの要素がスムーズにブレンドされた Kate&Ruth の2007作。Paul Brady の名唱でお馴染みの“I Am A Youth That's Inclined To Ramble”や“Barbara Allen”や“The Cookoo”等の伝承歌他全11曲。どれも唄の背景の土地のフォーク・ミュージックの土臭さを伴って Kate&Ruth 流にそれぞれ耳に心地よくかつ新鮮。ゲスト:Andy Irvine, Bruce Molsky。2007作。Tradsville)
- *JEFF LANG:Half Seas Over A
(オーストラリア人ギター奏者でSSWのJ. Langの本作はアメリカのフォークやブルースの根源へと一心を傾けた謙虚な傑作。集中力ある細心のギターの絶妙さにも心奪われるが、Jeffの物語を語るような唄の間と空気感が素晴らしい。ギターの音も唄も心に沁み渡る。2008作。Furry)
- *PAUL TURNER:Clear Blue A
(第一印象はNick Drake っぽい。Paulの唄は徹底して美しい。光を求めて旅するような唄の世界で、アコースティック・ギターとエレキギターの音色も調べも、彼の唄に相応しく、輝いている。星が一本の木にいっぱい

生っているジヤットというジヤット意匠そのままの夢見心地の唄と音楽。至福。2008 作。White Lotus)